KYOCERA

取扱説明書

Enerezza® Plus

エネレッツァプラス



システム型式

ご利用のシステム型式にチェックマーク☑を入れ、お問い合わせ時にご利用ください。

☐EGS-MC0550　☐EGS-MC1100　☐EGS-MC1650　☐PVS-591

このたびは、「Enerezza Plus（EGS-MC0550/1100/1650）」をお買い上げいただきまして
まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。
保証書は大切に保管してください。

※取扱説明書は予告なく改訂される場合があります。

最新の取扱説明書は下記URLもしくはQRコードよりダウンロードしてください。
https://www.kyocera.co.jp/solar/support/download/uploads/Enerezza_Plus_torisetsu.pdf

※蓄電池、パワーコンディショナ、リモコンの表示図の縮小比率はそれぞれ異なります。

目次

お使いになる前に

安全のために必ずお守りください …… 5
取扱い上のお願い …… 7

準備

運転を開始する …… 8
ご利用のEnerezza® Plusの構成を知る …… 10
Enerezza® Plusの構成 …… 10
各部の名称 …… 12
パワーコンディショナ …… 12
蓄電池 …… 13
リモコン …… 14
通信モデム …… 15
リモコンについて …… 16
リモコンの操作 …… 16
表示画面の見かた …… 16
表示画面を切替える …… 17
各種情報の表示内容 …… 17
メニューを利用する …… 21
設定項目一覧 …… 22

停電に備えた準備をする

停電時の家電製品利用に関するご注意 …… 23
停電時に使用する家電製品の設置例（11kWhの場合） …… 24
停電時の使用電力の優先順位 …… 24
Enerezza® Plusの停電時の動作を知りたい（非常時運転モードについて） … 25
「太陽光発電＋蓄電池」のときに使用できる非常時運転モードについて …… 25
「蓄電池のみ」のときに使用できる非常時運転モードについて …… 27
「太陽光発電のみ」のときの停電時の動作について …… 28
停電時の使いかたに合わせて準備をする …… 29
「太陽光発電＋蓄電池」での設定をする …… 29
「蓄電池のみ」での設定をする …… 30
「太陽光発電のみ」での設定をする …… 31
停電に備えて本システムの設定をカスタマイズする …… 32
停電時に使用できる電力量を確保する …… 32
停電時に出力可能な電力を設定する …… 33
外部電源を利用するためにリモコンを設定する …… 34

停電時の使いかた（自立運転）

停電発生時の操作 …… 38

停電時に外部電源を利用する（オプション） …… 39

外部電源の準備をする …… 39

外部電源で電力供給する …… 40

停電復帰時の操作 …… 44

外部電源を片付ける …… 44

停電時に蓄電池残量がなくなってしまったときは …… 46

太陽光発電ができる場合 …… 47

外部電源で電力供給できる場合（オプション） …… 47

通常の使いかた（連系運転）

Enerezza® Plusの通常の動作を知りたい（運転モードについて） …… 48

「太陽光発電＋蓄電池」のときに使用できる運転モードについて …… 48

「蓄電池のみ」のときに使用できる運転モードについて …… 51

「太陽光発電のみ」のときの通常動作について …… 52

通常の使いかたを設定する …… 52

「太陽光発電＋蓄電池」での設定をする …… 52

「蓄電池のみ」での設定をする …… 53

「太陽光発電のみ」での設定をする …… 54

蓄電池の充放電の動作をカスタマイズする …… 55

充電時刻／放電時刻を設定する …… 55

夜間充電量を設定する …… 57

お知らせを確認する …… 58

充放電を一時的に止める …… 59

その他の設定をする

日時を設定する …… 60

画面の明るさを変更する …… 62

画面オフ時間を変更する …… 63

操作音を変更する …… 64

アンペアブレーカ値を変更する …… 65

ネットワークの設定について …… 66

誤ってネットワーク設定画面に入ってしまったときは …… 66

ネットワークの通信状態を確認する …… 66

機器情報（ゲートウェイIDなど）を確認する …… 68

こんなときは

お困りのときは …… 69

長期不在になる …… 71

システムを停止／開始する …… 72

システムを停止する …… 72

システムを起動する …… 73

風水害時の対応 …… 75

風水害時に水没のおそれがあるとき …… 75

風水害時に水没したとき …… 75

地震時の対応 …… 75

エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたら …… 76

エラーメッセージ一覧 …… 76

他の機器（制御機器）と本システム接続時のエラー表示に関する注意点 …… 77

保証とアフターサービス

保証について …… 78

アフターサービスについて …… 78

Enerezza®Plusの移設について …… 78

蓄電池の廃棄について …… 78

蓄電池の増設について …… 78

ソフトウェアの自動更新について …… 79

蓄電池のメンテナンスモードについて …… 79

メンテナンスモード中の動作 …… 79

メンテナンスモードが長時間継続し、終わらない場合 …… 80

その他

仕様 …… 81

外形寸法 …… 82

リモコンの初期値一覧 …… 82

ソフトウェアライセンスについて …… 83

補助金に関するご注意 …… 85

安全のために必ずお守りください

●ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。

・ここに示した事項は、⚠警告 ⚠注意に区分しています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合、 および物的損害の発生が想定される事項

・絵表示については次のような意味があります。

	特定しない一般的な禁止を通告する表示		特定しない一般的な使用者の行為を 指示する表示

⚠警告



分解・改造をしない
- 感電・火災のおそれがあります。
- 保証対象外となります。



蓄電池およびパワーコンディショナのフロントカバーを開けない
- 内部に電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。



強い衝撃を与えない
- 変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。



上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を載せない
- 装置が変形・脱落し、感電・けが・故障のおそれがあります。



子供を近づけない
- 感電・火災・けがのおそれがあります。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器(ICD)を使用している方は、運転中の本製品に近づかない
- 機器本体からの電磁波が、ペースメーカーおよび ICD の作動に影響を与えるおそれがあります。



災害などにより本システムが浸水、水没、変形、破損、転倒などした場合、本製品には近づかない
- 感電、有害ガス発生、発火等の危険がありますので、「風水害時の対応」(P.75) に従って本システムを停止させ、すみやかにお買い上げの販売会社にご連絡ください。



可燃性ガスや引火物を近くに置かない
可燃性ガスを含む殺虫剤などを近くで使用しない
- 電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。



動作中や停止直後にパワーコンディショナ上部の高温部に触れない
- やけどの原因となります。

⚠警告

自立運転時、コンセントには灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引起こす可能性のあるものを接続しない
- 災害時に接続している機器の異常に気が付かないまま使用することで、火災のおそれがあります。

自立運転時、コンセントには、パワーコンディショナや外部電源を接続しない
- 感電・火災・故障のおそれがあります。

自立運転時、コンセントには、生命にかかわる機器（医療機器）や途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない
- 蓄電池の電力が不足すると機器が停止するおそれがあります。

煙が出ていたり、異臭がする場合は、すぐにEZP自動切替盤の蓄電システム用漏電ブレーカとリモコンの電源スイッチを「OFF」にする
- そのまま使用すると火災のおそれがあります。お買い上げの販売会社にご連絡ください。

取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社に依頼する
- 販売会社に依頼しない場合は、感電・火災のおそれがあります。
- 依頼しない場合は、保証対象外となります。

⚠注意

点検コードが連続的に表示されている状態のまま放置しない
- 蓄電池が充電されず、使用できなくなる可能性があります。

高圧洗浄機で本体を洗浄しない
- 内部に水が浸入し故障のおそれがあります。

リモコンを濡れた手で触れたり、濡れた布でふかない
- 感電・故障のおそれがあります。

通気口などに物（金属、紙）を差込んだり中に入れたりしない
- 故障のおそれがあります。

取扱い上のお願い

●正常な動作が保証されないため、次のような場所には取付けない

蓄電池、パワーコンディショナ

- □ 標高1500m より高いところ
- □ 重塩害地域
- □ 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- □ 振動、衝撃の影響が大きいところ
- □ 油蒸気、結露および氷結のあるところ
- □ 浸水のおそれがあるところ
- □ 電界、磁界の影響が大きいところ
- □ 直射日光が当たるところ
- □ 風通しが悪いところ
- □ 設置スペースまたは外寸法を確保できないところ
- □ 次の温度範囲外のところ
  周囲温度：−20℃～+40℃
  ※装置内部の温度状態が低温または高温になることにより動作を抑制または停止します。温度が範囲内に戻れば動作を再開します。低温環境下においては充電電力が抑制されることがあるため、充電時間が長くなる場合があります。

リモコン、通信モデム

- □ 屋外
- □ 温度変化が激しいところ
- □ 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- □ 振動、衝撃の影響が大きいところ
- □ 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ
- □ 電界、磁界の影響が大きいところ
- □ 直射日光が当たるところ
- □ 次の温度範囲外のところ
  周囲温度：0℃～+40℃
- □ 電波干渉、電波障害の影響を受けるところ

● 騒音について厳しい制約を受ける場所には設置しない

- 運転時はファンなどの動作音が発生します。
- 運転時の動作音は聴覚感覚が高い方にとって不快に感じることがあります。
- 壁の構造により動作音が壁内で増幅されたり、離れた場所に音が伝わり聞こえる場合があります。また、窓付近への設置は動作音が気になる場合があります。

● コンセントには「停電時出力設定」（P.33）で設定した以上の機器や突入電流が大きな機器を接続しない

- 機器故障のおそれがあります。

● 通気口が荷物や積雪で塞がらないようにする

- 温度上昇によりエラー停止する可能性があります。

● 通信モデムをハウスマイル ネットワークに接続する目的以外には使用しない

- 目的以外に使用された場合、予告なく回線提供者により強制停止されることがあります。また目的以外に使用されたときの通信費用については別途請求させていただきます。

● 装置の近くでテレビやラジオなどを使用しない

- テレビ画面が乱れることや、ラジオに雑音が入ることがあります。3m以上離してご使用ください。
- 電波の受信が弱い場所では電波障害を受けるおそれがあります。

● インターネットにつながらない環境で使用しない

- 通信モデムはauの4G LTEサービスエリア外では、使用できません。
- 通信モデムの設置環境によってはインターネット接続できない場合があります。通信モデムによるインターネット接続ができない場合はお客様のインターネット環境にて、リモコンを有線LANで接続してご使用ください。

● シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない

- 装置の変色・変形のおそれがあります。

● 設置場所までの通路を塞がない

- 他の設備により修理・交換の際の搬入出経路を塞がないようにしてください。
- 搬入出の際に他の設備の撤去・移動を行う費用はお客様のご負担となります。

運転を開始する

本システムの運転を開始するには、以下の手順で行います。

1 リモコンの電源スイッチを「ON」にする

※ 右の画面表示中はリモコンの電源スイッチを切らないでください。



2 リモコンの日付と時刻を確認する

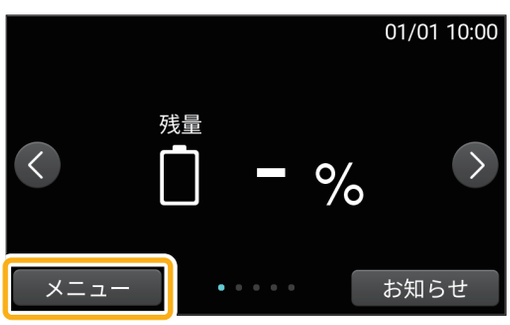
・リモコンの画面右上に表示している日付と時刻を確認してください。

注意事項

・現在日時と大きく異なる場合はリモコンの通信状態を確認してください（P.66）。通信状態が悪く、リモコンの表示している日時が現在日時にならない場合は、日付および時刻を手動で設定してください（P.60）。
リモコンの日付、時刻が大きく異なると、運転開始時にエラーが発生する可能性があります。



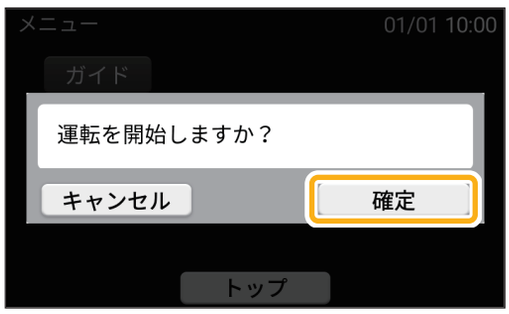
3 「メニュー」をタッチする



4 「運転開始」をタッチする



5 「確定」をタッチする



ご利用の Enerezza® Plus の構成を知る

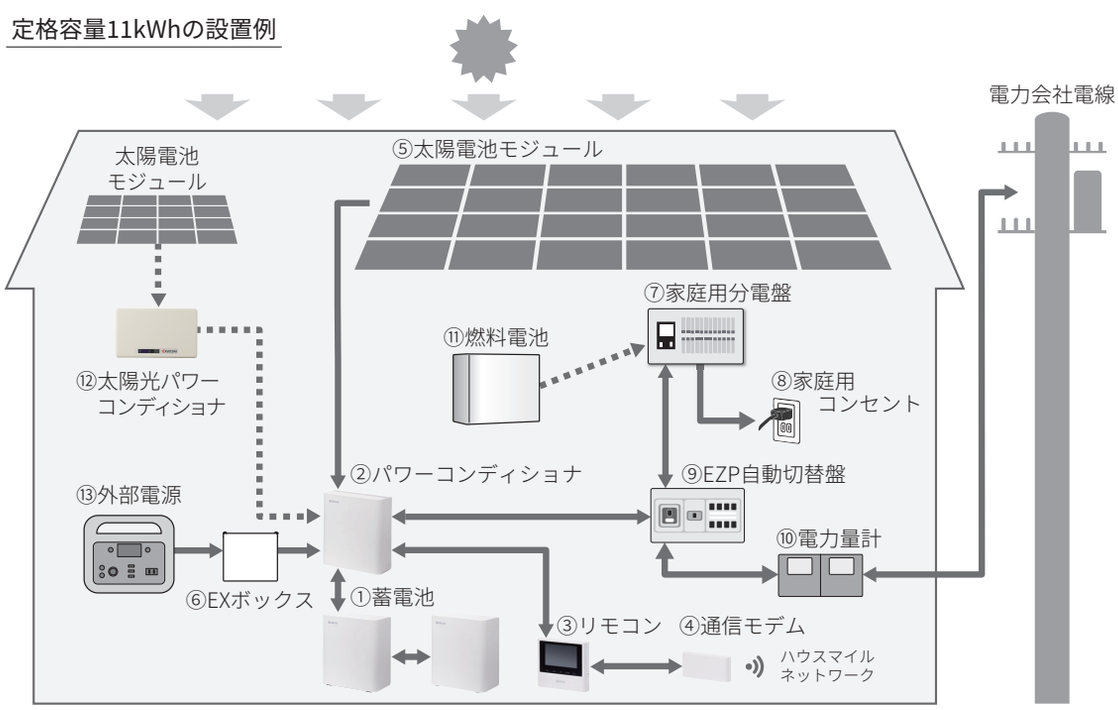
Enerezza Plus は構成する機器により利用できる使いかたが変わります。ご利用中の機器の組み合わせを次の表でご確認ください。
機器の組み合わせは次のとおりです。本取扱説明書内の説明でも対象のアイコンが表示されている操作方法でご確認ください。

機器	説明	アイコン
・パワーコンディショナ ・太陽電池モジュール ・蓄電池ユニット	パワーコンディショナと太陽電池モジュール、蓄電池ユニットのすべての機器を利用している構成です。	太陽光＋蓄電池
・パワーコンディショナ ・蓄電池ユニット	パワーコンディショナと蓄電池ユニットのみを利用している構成です。	蓄電池のみ
・パワーコンディショナ ・太陽電池モジュール	パワーコンディショナと太陽電池モジュールのみを利用している構成です。	太陽光のみ

Enerezza® Plus の構成

本システムでは、パワーコンディショナ、太陽電池モジュール、蓄電池ユニットの機器を組合わせて利用することができます。下図は、すべての機器を利用している場合の構成を示しています。
ご利用中の機器の組み合わせにより違いがある場合は、アイコンで表示しています。

太陽光＋蓄電池　蓄電池のみ　太陽光のみ



① **蓄電池*1** 太陽光＋蓄電池・ 蓄電池のみ・
電力を蓄えます。
蓄電池1台で定格容量5.5kWhの電力を蓄えることができます。最大3台まで接続でき、2台の場合は11kWh、3台の場合は16.5kWhになります。

② **パワーコンディショナ*1**
電気の流れを中心的に制御する機器です。
太陽光や蓄電池、外部電源などパワーコンディショナに接続された機器の電力を供給したり、蓄電池に充電したりします。

③ **リモコン*1**
表示画面を備えた操作パネルです。充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

④ **通信モデム*1**
LTE通信により、本システムのデータを当社サーバへ送信します。また、ハウスマイル ネットワーク※もご利用いただけます。

⑤ **太陽電池モジュール** 太陽光＋蓄電池・ 太陽光のみ・
太陽光を受けて発電します。

⑥ **EXボックス（オプション）*1**
ポータブルバッテリーや、電気自動車など100Vのコンセントのある機器を外部電源として接続し、電力として利用できます。

⑦ **家庭用分電盤**
契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、分岐ブレーカを搭載しています。

⑧ **家庭用コンセント**
通常使用する一般的なコンセントです。

⑨ **EZP自動切替盤*1**
蓄電システム用漏電ブレーカ、切替スイッチを搭載しています。

⑩ **電力量計**
電力会社に売った電力（売電）と、買った電力（買電）を計量します。

⑪ **燃料電池**
燃料電池を設置している場合は、燃料電池も連携して電気を利用することができます。

⑫ **太陽光パワーコンディショナ**
パワーコンディショナに接続できる容量以上の太陽電池モジュールが搭載された場合は太陽光パワーコンディショナが必要になります。

⑬ **外部電源**
停電時に所有されているポータブルバッテリーや電気自動車などの100Vコンセントのある機器の電力をパワーコンディショナを通じて供給することができます。

*1：当社が Enerezza Plus としてご提供している機器です。

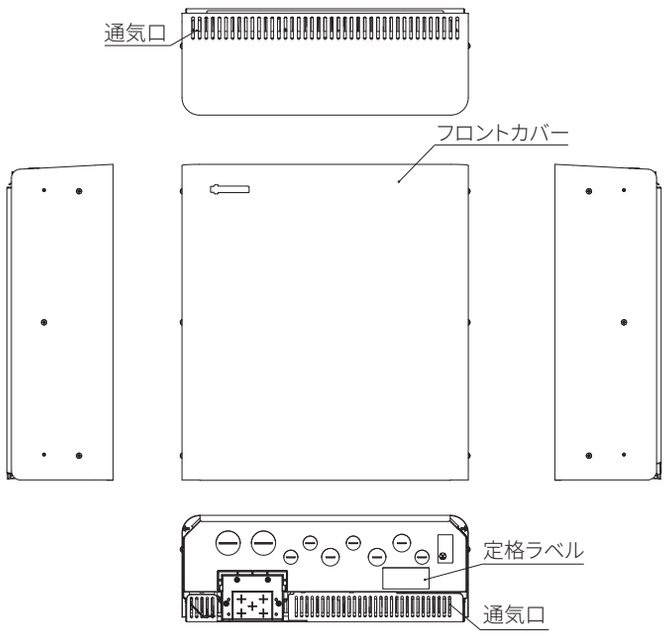
※ ハウスマイル ネットワークは、インターネットを使って自宅の電気使用状況が確認できるサービスです。
ログインに必要なゲートウェイ ID は、「Enerezza Plus ご利用ガイド（別紙）」もしくは「機器情報（ゲートウェイ ID など）を確認する（P.68）」
をご確認ください。ご利用方法は下記 URL もしくは QR コードよりご確認ください。
https://www.kyocera.co.jp/solar/personal/support/hsnet/

注意事項

- ⑫太陽光パワーコンディショナの自立出力が②パワーコンディショナに接続されている場合、⑥EXボックスは設置できないため外部電源の接続はできません。
- 通信モデムに関しては4G LTEサービス終了後はインターネット接続できなくなります。

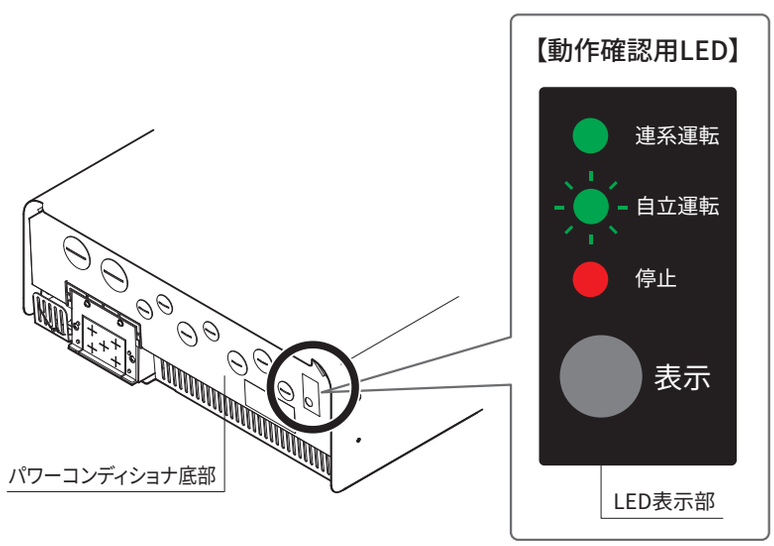
各部の名称

パワーコンディショナ



■動作確認用LED表示部について

動作確認用の LED 表示部はパワーコンディショナ底部に配置されています。
LED 表示部の点灯パターンについては、下表をご確認ください。



■LED表示部の点灯パターン

LED表示部		パワーコンディショナの状態
表示（緑）	緑点灯	連系運転
表示（緑）	緑点滅	自立運転
表示（赤）	赤点灯	停止
表示（赤）	赤点滅	異常（エラー）

●連系運転とは

本システムでの通常の運転のことを「連系運転」と呼びます。

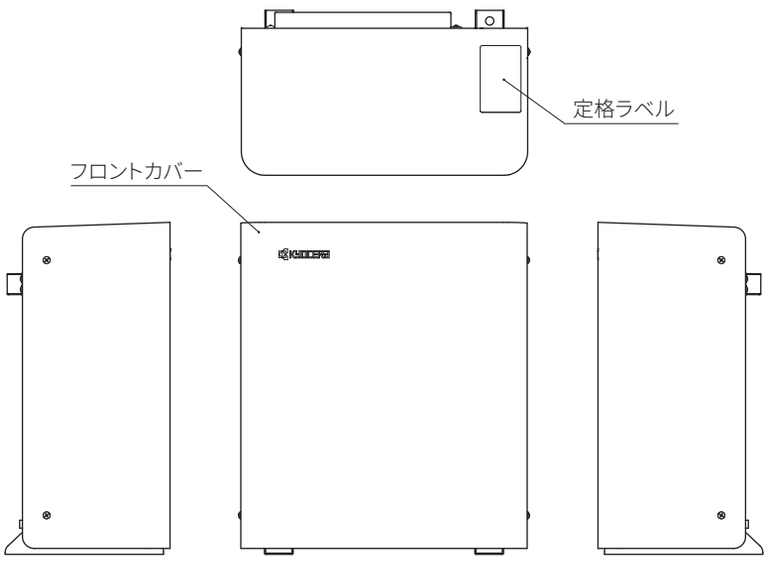
●自立運転とは

本システムでの停電時の運転のことを「自立運転」と呼びます。

お知らせ

・異常（エラー）時については、リモコン画面にエラー内容と解除方法が表示されます。表示内容に従って確認を行ってください。
・リモコンに異常が発生したときも運転を継続します。動作状態はLED表示部を確認してください。

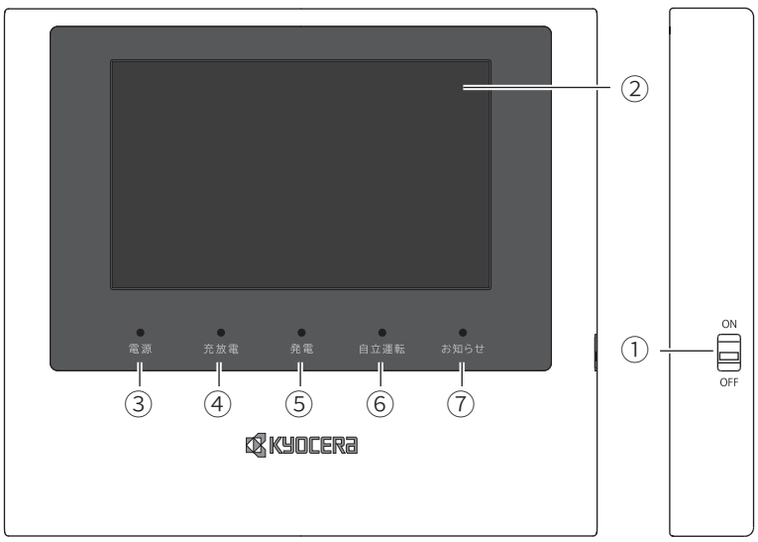
蓄電池



注意事項

・パワーコンディショナおよび蓄電池のフロントカバーは開けないでください。
感電のおそれがあります。
・蓄電池本体とフロントカバーの間には数mm程度隙間が生じる場合がありますが、防水性能に影響はありません。
・パワーコンディショナの通気口を塞がないでください。
温度上昇し、出力抑制および自動停止するおそれがあります。
・パワーコンディショナおよび蓄電池の動作中、カーテンや衣類などを接触させないでください。

リモコン



① 電源スイッチ	システムの電源スイッチです。
② 画面	画面はタッチパネルになっています。 表示の変更や各種設定は画面をタッチして行ってください。
③ 電源ランプ	電源「ON」時に緑点灯します。
④ 充放電ランプ	運転状態にあわせてオレンジ／緑で点灯します。 充電中：オレンジ 放電中：緑 待機中、停止中：消灯
⑤ 発電ランプ	太陽光発電中に緑点灯します。
⑥ 自立運転ランプ	自立運転中に緑点灯します。
⑦ お知らせランプ	エラー発生状態に合わせて緑点灯／緑点滅／赤点滅します。

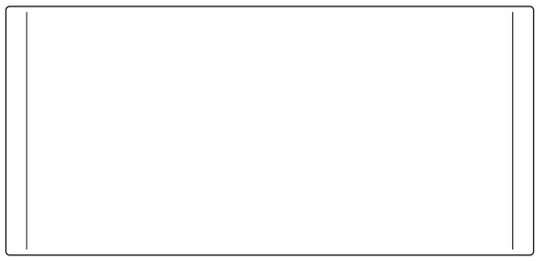
注意事項

・リモコン側面の電源スイッチを「OFF」にすると、本システムが停止します。
通常時は「OFF」にしないでください。

お知らせ

・本機は警報ブザーを内蔵しています。エラー発生時、エラーの種類によってはリモコン内部の警報ブザーが鳴ることがあります。

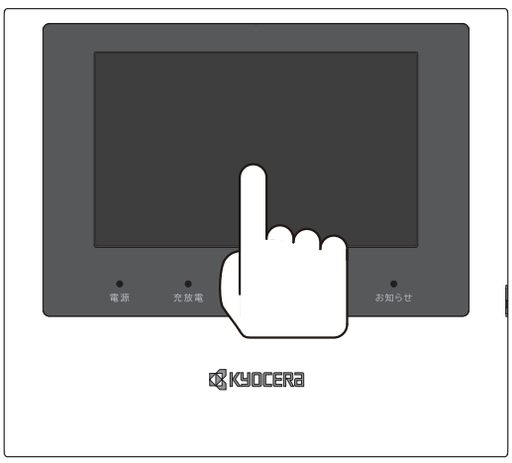
通信モデム (オプション品)



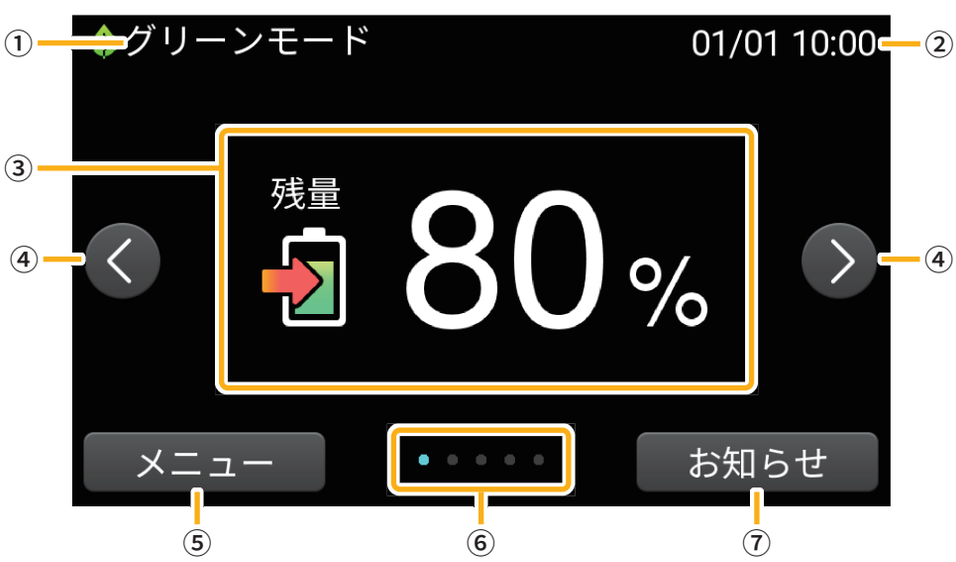
リモコンについて

リモコンの操作

本製品のリモコン画面はタッチパネルになっており、直接触れて操作できます。
リモコンの画面をタッチして操作を行います。



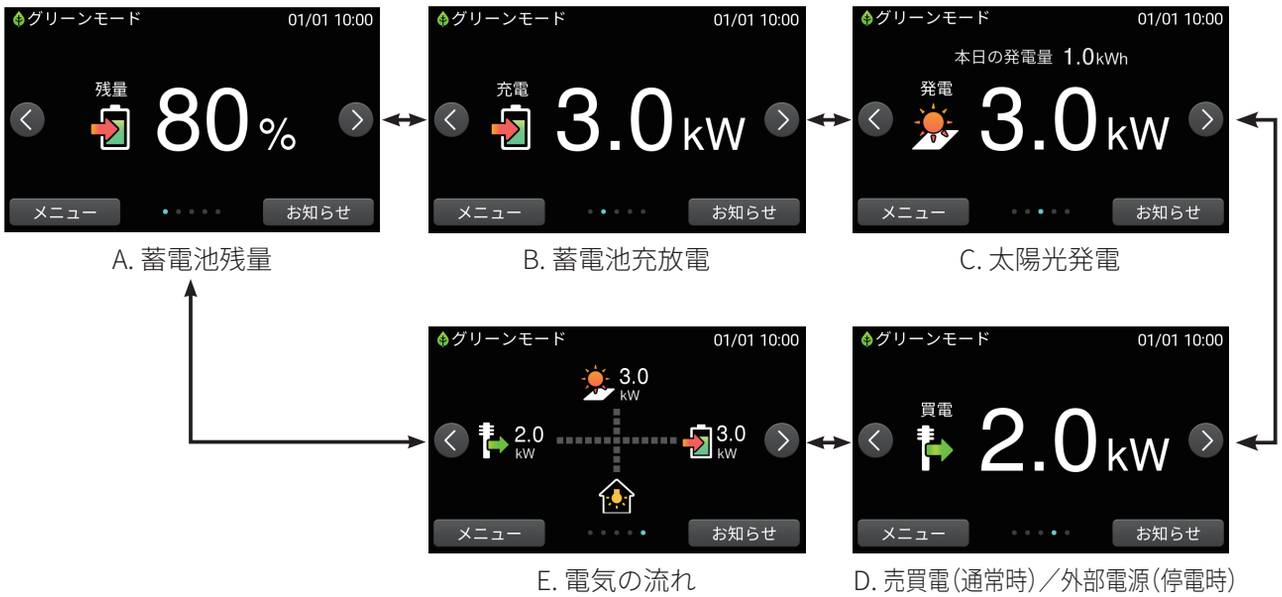
表示画面の見かた



① モード	稼働しているモードを表示します。
② 現在日時	現在日時を表示します。
③ 各種情報	A. 蓄電池残量、B. 蓄電池充放電、C. 太陽光発電、 D. 売買電（通常時）／外部電源（停電時）、E. 電気の流れ画面を表示します。
④ 切替ボタン	③各種情報画面の表示内容を切替えます。
⑤ メニュー	メニュー画面を表示します。
⑥ ロケーター	表示されている画面の種類（A～E）を表示します。
⑦ お知らせ	お知らせ画面を表示します。

表示画面を切替える

切替ボタンをタッチすることで画面を切替えて表示します。



A. 蓄電池残量　B. 蓄電池充放電　C. 太陽光発電

E. 電気の流れ　D. 売買電(通常時)／外部電源(停電時)

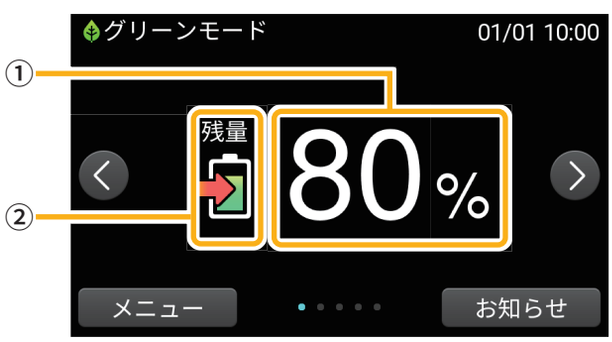
各種情報の表示内容

■A. 蓄電池残量

① 蓄電池の残量を0～100%で数値表示します。
② 本システムの運転状態と蓄電池残量をアイコン表示します。

アイコン表示	状態説明
	充電中
	放電中
	待機中

蓄電池残量が100%～16%のときは緑色、15%～1%のときは赤色で表示されます。



蓄電池残量

・蓄電池残量は、目安としてお使いください。蓄電池の状態により値が大きく変動することがあります。
また、蓄電池残量が100%と表示された状態で充電、0%と表示された状態で放電する場合がありますが、蓄電池の基本特性によるもので故障ではありません。
・電力契約によっては、充電時間帯に他の家電製品（電気給湯器、床暖房など）を多く使っている場合、充電できる電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。その場合は、電力契約の見直しなどをご検討ください。

■B. 蓄電池充放電

① 本システムの充電電力または放電電力を数値表示します。
なお数値は目安です。
② 本システムの運転状態と蓄電池残量をアイコン表示します。
※ アイコンの状態については「A. 蓄電池残量」（P.17）をご参照ください。

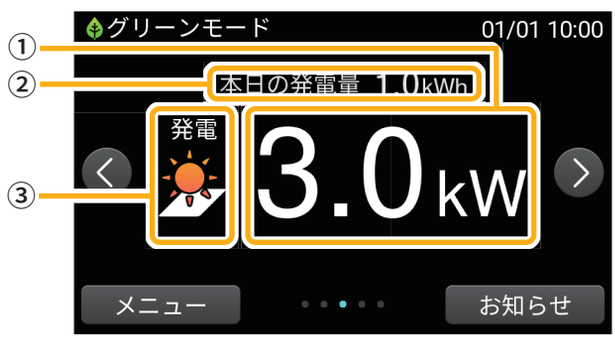


蓄電池充放電

■C. 太陽光発電

本システムの太陽光発電の情報を表示します。
① 発電電力（0.1kW以上）を数値表示します。
なお数値は目安です。
② 当日の積算発電量を数値表示します。
なお数値は目安です。
③ 太陽光発電システムの発電状態をアイコン表示します。

アイコン表示	状態説明
	発電中 ・太陽がオレンジ色で表示されます ※発電電力が0.1kW以上の場合
	停止中もしくは太陽光発電がない場合 ・太陽がグレーで表示されます



太陽光発電

■D. 売買電（通常時）／外部電源（停電時）

●売買電の場合

① 電力会社に売った電力（売電）と、買った電力（買電）を数値表示します。なお数値は目安です。
② 電力会社からの売買電状態をアイコン表示します。

アイコン表示	状態説明
	売電中
	買電中
	売電／買電なし



売買電

●自立運転の場合

自立運転時は外部電源の電力を利用しますので、その情報を表示します。
① 外部電源による電力の数値を表示します。なお数値は目安です。
② 外部電源の状態をアイコン表示します。

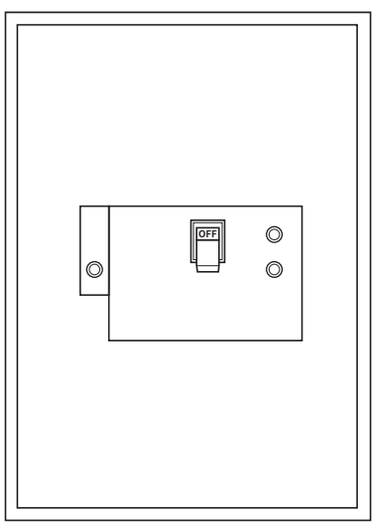
アイコン表示	状態説明
	発電中（外部電源から電力供給されている状態）
	停止中（外部電源から電力供給されていない状態）



自立運転

お知らせ

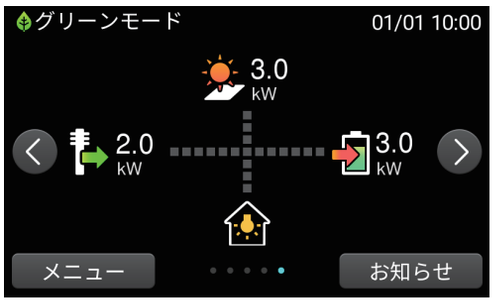
・停電が発生していないときに「自立運転中」と表示される場合は、蓄電システム用漏電ブレーカが「OFF」になっている可能性があります。「OFF」になっている場合は「ON」にしてください。
ご不明な点は、販売会社へご連絡ください。



■E. 電気の流れ

・電力会社からの売買電・太陽光発電・家庭内の消費・蓄電池間の電力の流れのイメージを、破線の動きと流れる方向で表示します。

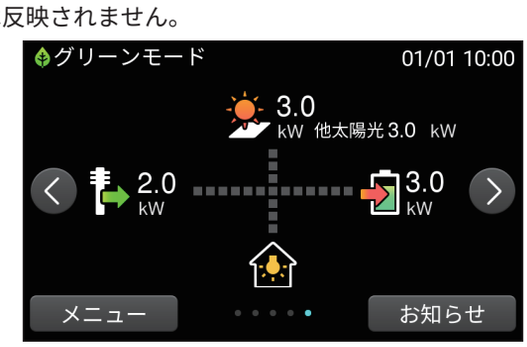
アイコン表示	状態説明
	家庭内の消費あり ・消費電力が0.1kW以上の場合は電球が黄色で表示されます。
	家庭内の消費あり ・消費電力が供給できる電力の上限に近くなっている場合は電球が赤色で表示されます。
	家庭内の消費なし ・電球がグレーで表示されます。



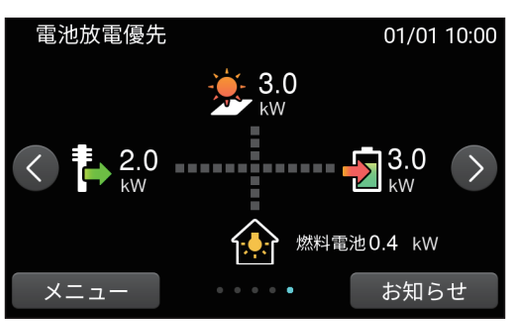
電気の流れ画面

お知らせ

・リモコンに表示される電力の値は誤差を含みます。精密な計測機器等他の機器の値とは異なることがあります。
・電力が小さい（0.1kW未満）場合でも、誤差などにより、電力の流れが表示される場合があります。
・燃料電池などの発電装置が設置されている場合、電力の流れや値を正しく表示できません。
・自立運転時は、コンセントの消費量を放電電力として表示します。
・放電中でも買電する場合があります。（P.70）
・他太陽光を計測する場合は、画面に「他太陽光」の項目と発電量が表示されます。他太陽光の発電量は数値表示のみとなります。電力の流れには反映されません。



・自立運転時は「他太陽光」の項目と発電量は表示されません。
・燃料電池を計測する場合は、画面に「燃料電池」の項目と発電量が表示されます。



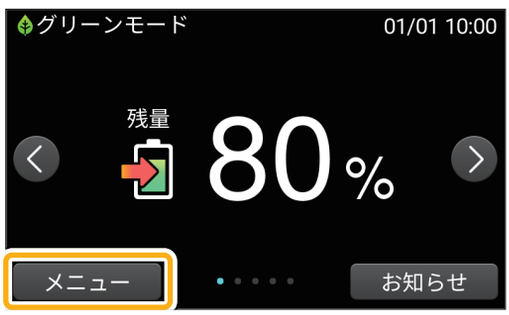
・消費電力がほとんどない状態で蓄電池が燃料電池の発電電力を充電しているときは、画面中央より蓄電池に対する流れの表示だけが表示されますが異常ではありません。
・本システム以外に太陽光パワーコンディショナを設置していて、燃料電池も設置している場合、リモコンに表示できるのは他太陽光と燃料電池のいずれか一つのみです。

メニューを利用する

本システムで利用できるメニューを表示します。利用できるメニューは、本システムでご利用中の機器構成により異なります。

1 **トップ画面で「メニュー」をタッチする**

・メニュー画面が表示されます。



■メニュー画面



設定	設定画面を表示します。	P.22
機器情報	機器情報画面を表示します。	P.68
運転停止／運転開始	運転を開始／停止します。	P.8、P.72
ガイド	リモコンの使いかたを説明する動画へリンクするQRコードを表示します。	–

設定項目一覧

本システムでは、次の設定を行うことができます。

運転モード	本システムの通常の動作を制御する「運転モード」を設定します。	P.52
充電時刻	充電の開始時刻・停止時刻を設定します。	P.55
放電時刻	放電の開始時刻・停止時刻を設定します。	
非常時運転モード	本システムの停電時の動作を制御する「非常時運転モード」を設定します。	P.29
非常時安心設定	停電時にコンセントが使えるように、通常時利用の蓄電池残量を指定のパーセントまでに制限する値を設定します。	P.32
現在日時	現在日時を設定します。	P.60
画面の明るさ	タッチパネルの明るさを設定します。	P.62
画面オフ時間	タッチパネルを操作していないときに、画面が消灯するまでの時間を設定します。	P.63
操作音	画面操作音を設定します。	P.64
アンペアブレーカ値	アンペアブレーカ値を設定します。（通常時は使用しません。）	P.65
夜間充電量設定	充電時間帯に充電しておく充電量を設定します。	P.57
停電時出力設定	停電時に利用する電力値を設定します。	P.33
外部電源電力設定	接続を予定している外部電源の電力値を設定します。	P.36
外部電源充電設定	接続した外部電源を利用して蓄電池に充電するかどうかを設定します。	P.35
外部電源入力設定	接続した外部電源の電力を利用するかどうかを設定します。	P.34
ネットワーク	ネットワークの状態を確認できます。（通常時は使用しません。）	P.66
設定リセット	設定をリセットします。お困りのときは「設定情報をリセットしたい」（P.70）よりご確認ください。	P.70

停電時の家電製品利用に関するご注意

停電時にパワーコンディショナからコンセントに出力される電力の上限は「停電時出力設定」によります(P.33)。
電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、「停電時出力設定」の設定値を超える電気が消費されると内部の安全装置が作動し、リモコンにメッセージを表示して、コンセントへの給電を停止します。
下記の家電製品のコンセントへの接続は避ける、または注意してください。

生命にかかわる機器	接続禁止	医療機器など
途中で電源が切れると不具合を生じるおそれがある家電製品	接続禁止	デスクトップ型パソコンなど
瞬間的に大電流を必要とする家電製品	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター、冷蔵庫、エアコン、ポンプなど
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブなど
周波数50Hz/60Hzを手動で切替えて使用する家電製品	動作しない場合がある	オーディオタイマーなど
「弱」設定などで半波整流負荷となる家電製品	動作しない場合がある	ドライヤー、電気ストーブなど

お知らせ

- 消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らすなど、コンセントの定格出力および「停電時出力設定値」を超えないように工夫してください。家電製品によっては、自動的に運転を開始するものがありますので、ご注意ください。
- もし、安全装置が作動してしまった場合は、リモコンのメッセージに従って、接続している家電製品の数を減らしてください。また家電製品を接続するコンセントや運転させる順序を変更することで動作する場合があります。
- 電源を入れたときの電流が大きく、消費電力も比較的大きい機器を接続すると一時的に大電流が流れ、本システムの電力供給能力を超えることがあります。電力供給能力を超えると、家電製品が停止したり、本システムの安全装置が作動し、コンセントへの給電を停止する場合があります。

停電時に使用する家電製品の設置例（11kWh の場合）

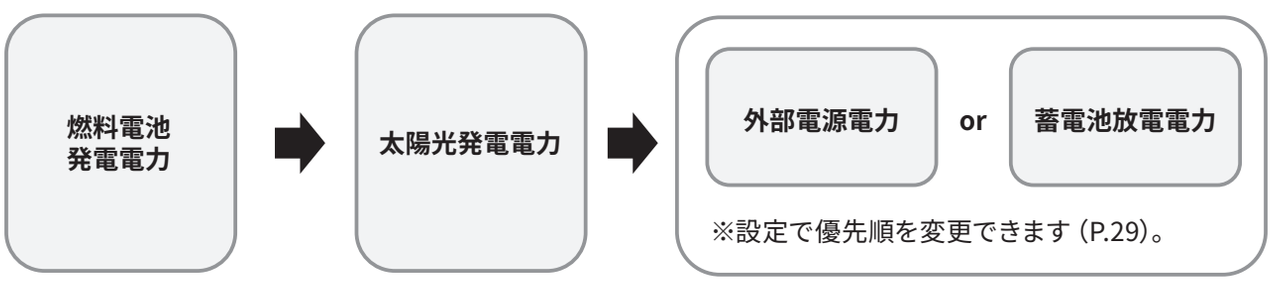
満充電の場合、停電時に冷蔵庫、テレビ、携帯電話、ノートパソコン、LED照明など、必要最低限の家電製品（約430W）を約21時間※動かすことができます。



※ おおよその目安です。実際のご利用では蓄電池の充電量、使用環境で変わります。

停電時の使用電力の優先順位

使用できる電力の種類は、「燃料電池発電電力」、「太陽光発電電力」、「外部電源電力」、「蓄電池放電電力」の 4 つです。下記の優先順で電力が自動的に使用されます。



お知らせ

- 燃料電池が設置されている場合は、燃料電池の電力を最も優先して使用します。
- EXボックスが設置されておらず、太陽光パワーコンディショナの自立出力がパワーコンディショナに接続されている場合は、外部電源電力と同じ優先順位で電力が使用されます。

停電時の燃料電池の使用について

停電時、燃料電池は本製品の自立出力により連系運転で動作し、発電電力をコンセントへ出力します。
またオプション製品をご使用の場合、余剰電力があれば蓄電池へ充電します。
※お客様のシステム構成によって、動作が異なる場合があります。

お知らせ

- 停電後、燃料電池の電力供給開始までにしばらく時間がかかる場合があります。10分ほどお待ち頂き燃料電池のリモコン画面を確認して下さい。
- 停電時、燃料電池は連系運転で動作中のため、停電時専用コンセントへは出力しません。
- 停電中、燃料電池が発電を停止した場合、蓄電池残量によっては燃料電池が再起動できない場合があります。

Enerezza® Plus の停電時の動作を知りたい（非常時運転モードについて）

本システムは非常時運転モードを設定することで、停電時の使いかたを設定することができます（P.29）。
お客様のシステム構成をご確認いただき、下記のページをご参照ください。
●太陽光発電＋蓄電池→ P.25
●蓄電池のみ→ P.27
●太陽光発電のみ→ P.28

また次の条件により項目が異なる場合があります。
・ソフトウェアのバージョン
・お客様のシステム構成
・ご契約内容

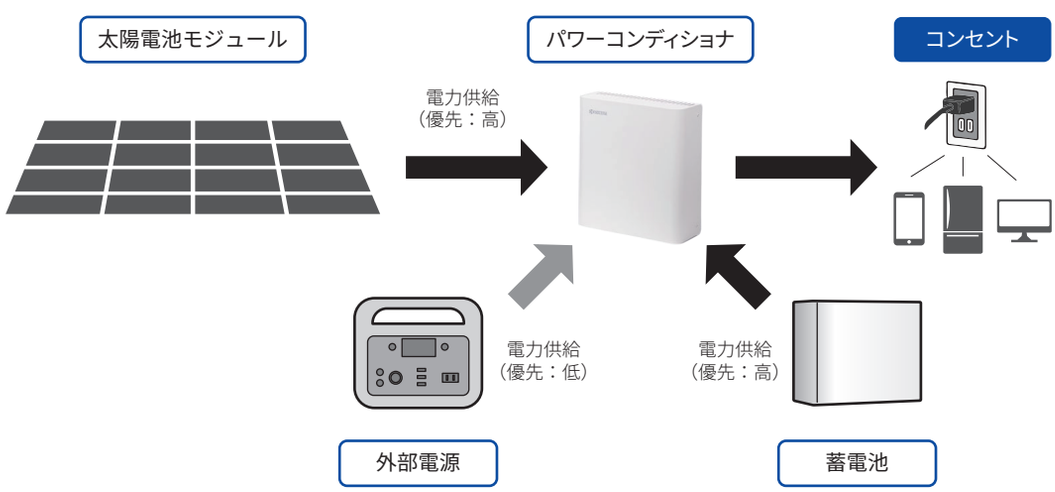
「太陽光発電＋蓄電池」のときに使用できる非常時運転モードについて　太陽光＋蓄電池

本システムで「太陽光発電」と「蓄電池」を利用する構成での、停電時の動作については次の内容をご参照ください。
※蓄電池台数によって充放電電力が異なります。（P.81）

■電池放電優先モード

こんな使いかた➡ **停電時、太陽光発電と蓄電池の電力を優先したい**

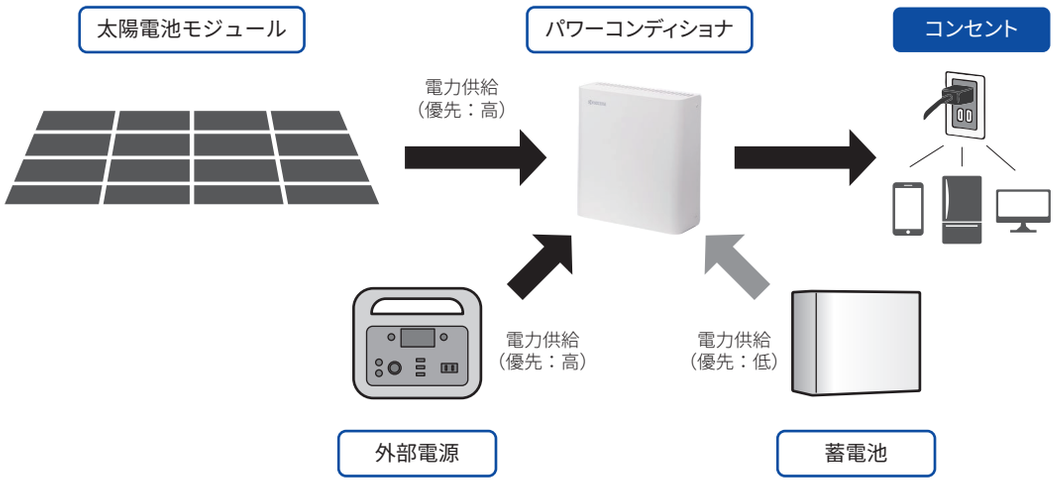
太陽光発電と蓄電池の電力を優先して使用し、電力が不足したときは外部電源からの放電を行います。



■外部電源優先モード

こんな使いかた➡ 停電時、太陽光発電と外部電源の電力を優先したい

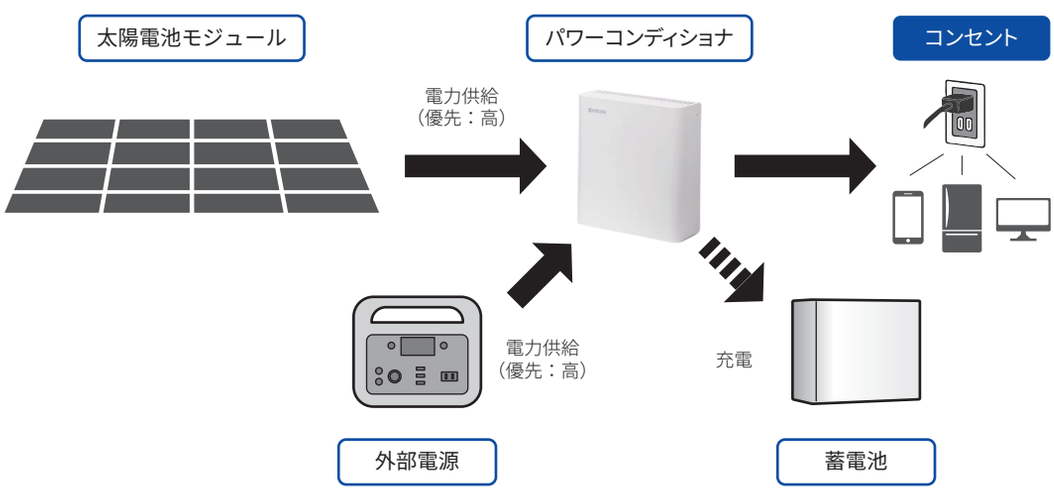
太陽光発電と外部電源の電力を優先して使用し、電力が不足したときは蓄電池からの放電を行います。



■電池放電禁止モード

こんな使いかた➡ 停電時、蓄電池に充電のみ行いたい

太陽光発電の電力と外部電源の電力を使用します。電力が余った場合は蓄電池を充電します。



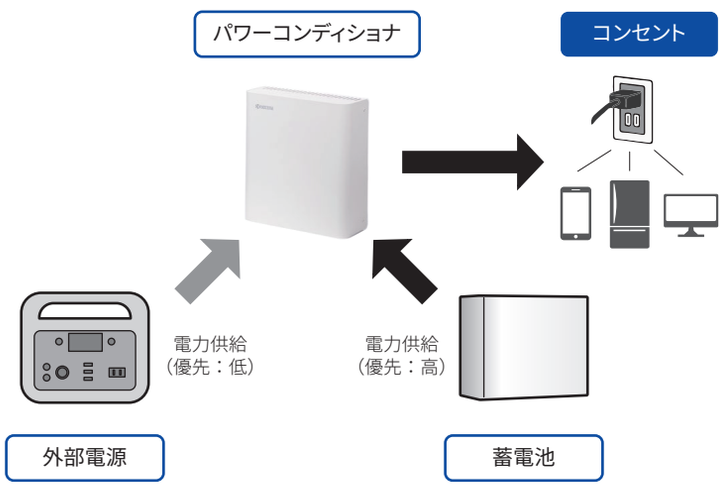
「蓄電池のみ」のときに使用できる非常時運転モードについて 蓄電池のみ

本システムで「蓄電池」を利用する構成での、停電時の動作については次の内容をご参照ください。
※蓄電池台数によって充放電電力が異なります。（P.81）

■電池放電優先モード

こんな使いかた➡ 停電時、蓄電池の電力を優先したい

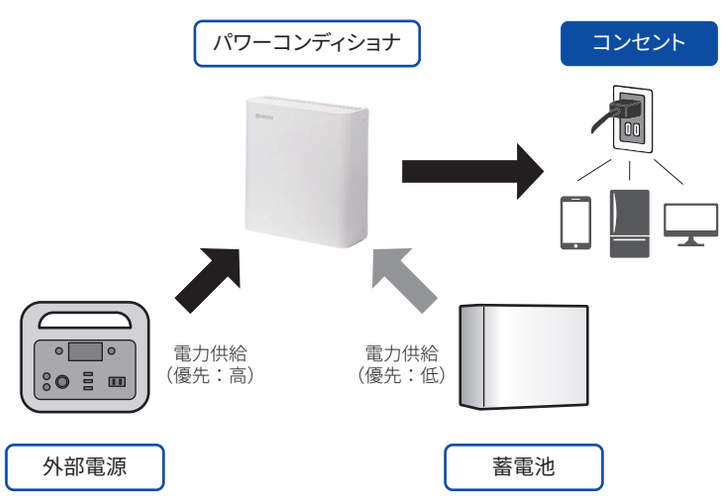
蓄電池の電力を優先して使用し、電力が不足したときは自動的に判断して外部電源から電力供給を行います。



■外部電源優先モード

こんな使いかた➡ 停電時、外部電源の電力を優先したい

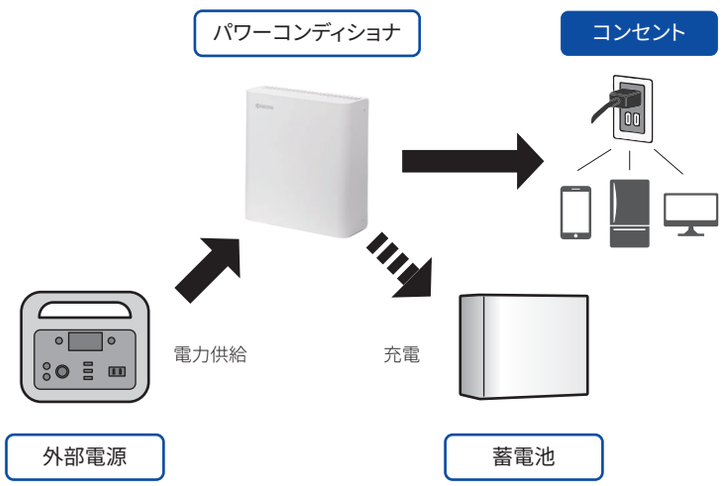
外部電源からの電力を優先して使用し、電力が不足したときは自動的に判断して蓄電池からの充放電を行います。



■電池放電禁止モード

こんな使いかた➡ **停電時、蓄電池の電力を使わない**

蓄電池からの放電を行わないモードです。外部電源からの余剰電力の充電およびコンセントへの供給は行います。

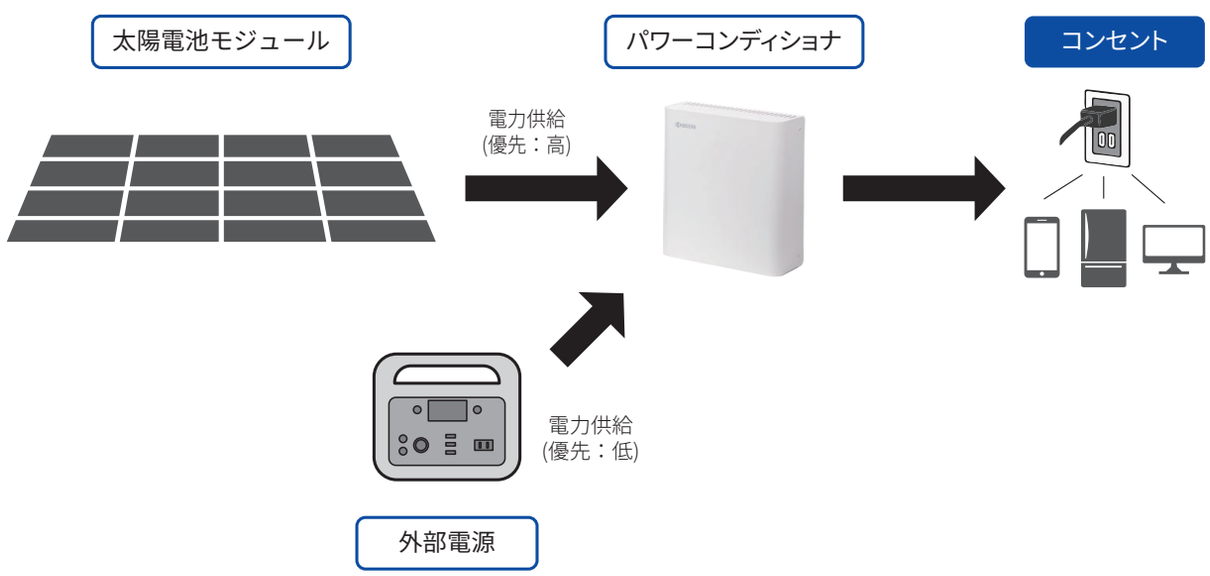


「太陽光発電のみ」のときの停電時の動作について

太陽光のみ

本システムで「太陽光発電」を利用する構成での、停電時の動作については次の内容をご参照ください。

こんな使いかた➡ **停電時、太陽光発電の電力を利用したい**



停電時の使いかたに合わせて準備をする

非常時運転モードを設定することで、本システムの停電時の動作を設定することができます。
お客様のシステム構成をご確認いただき、下記のページをご参照ください。

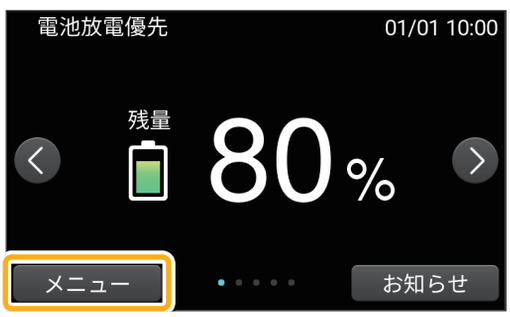
●太陽光発電＋蓄電池→ P.29
●蓄電池のみ→ P.30
●太陽光発電のみ→ P.31

「太陽光発電＋蓄電池」での設定をする

太陽光＋蓄電池

本システムで「太陽光発電」と「蓄電池」を利用する構成での、非常時運転モードの設定方法は次のとおりです。

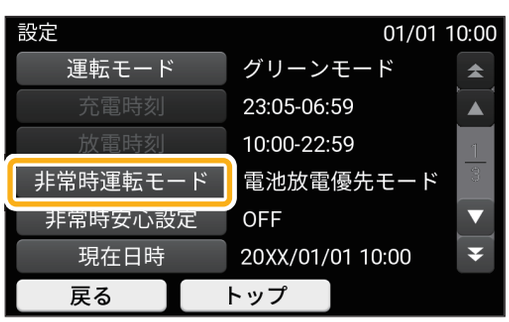
1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

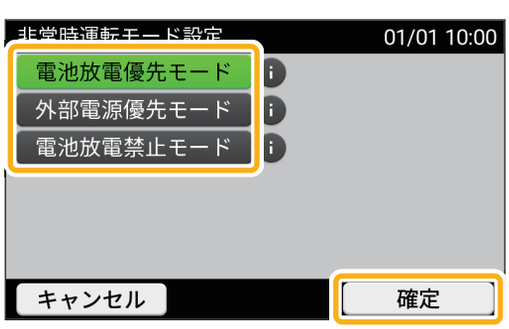


3 「非常時運転モード」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

・ⓘをタッチすると非常時運転モードの説明が表示されます。



■カスタマイズするには

カスタマイズするには次のページをご参照ください。

➡「停電時に使用できる電力量を確保する」へ P.32

➡「停電時に出力可能な電力を設定する」へ P.33

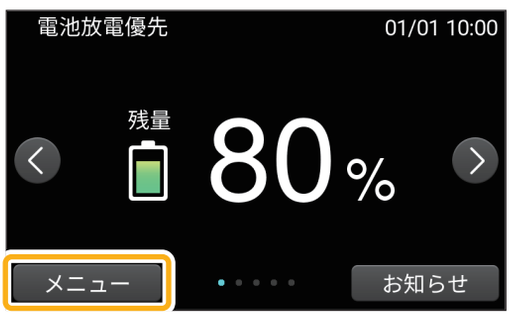
➡「外部電源を利用するためにリモコンを設定する」へ P.34

「蓄電池のみ」での設定をする

蓄電池のみ

本システムで「蓄電池」を利用する構成での、非常時運転モードの設定方法は次のとおりです。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

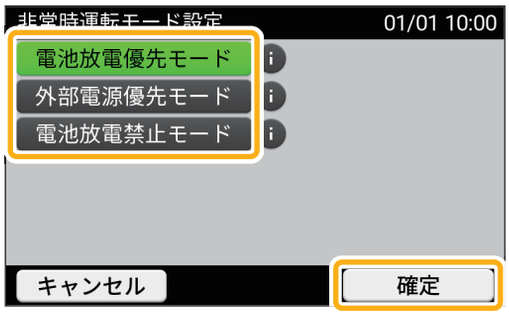


3 「非常時運転モード」をタッチする



4 **項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする**

・ⓘをタッチすると非常時運転モードの説明が表示されます。



■カスタマイズするには

カスタマイズするには次のページをご参照ください。

➡「停電時に使用できる電力量を確保する」へ P.32
➡「停電時に出力可能な電力を設定する」へ P.33
➡「外部電源を利用するためにリモコンを設定する」へ P.34

「太陽光発電のみ」での設定をする

太陽光のみ

太陽光発電のみの利用の場合は、停電時の設定はできません。停電時は運転の開始／停止のみ行えます。開始／停止の操作は「システムを停止／開始する」（P.72）と同じ操作になります。

■カスタマイズするには

カスタマイズするには次のページをご参照ください。

➡「停電時に出力可能な電力を設定する」へ P.33
➡「外部電源を利用するためにリモコンを設定する」へ P.34

停電に備えて本システムの設定をカスタマイズする

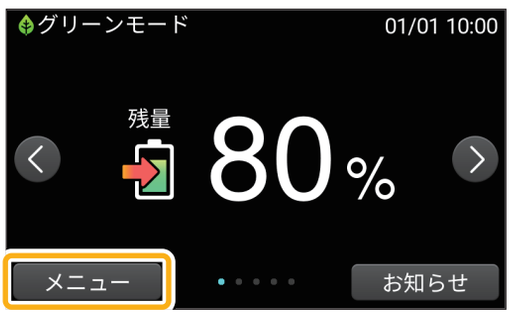
自立運転の基本的な設定を変更して、本システムの動作をカスタマイズすることができます。

停電時に使用できる電力量を確保する

太陽光＋蓄電池・蓄電池のみ・

停電時にコンセントが使えるように、通常時利用の蓄電池残量を指定のパーセントまでに制限する設定です。
蓄電池残量が指定のパーセントを下回ると放電を停止します。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

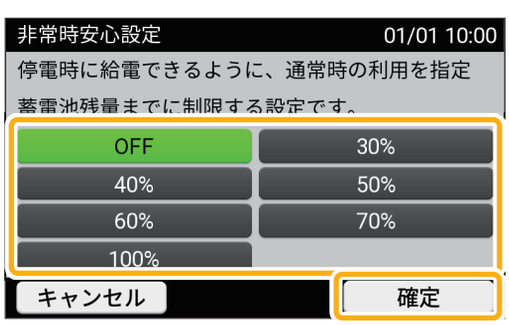


3 「非常時安心設定」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

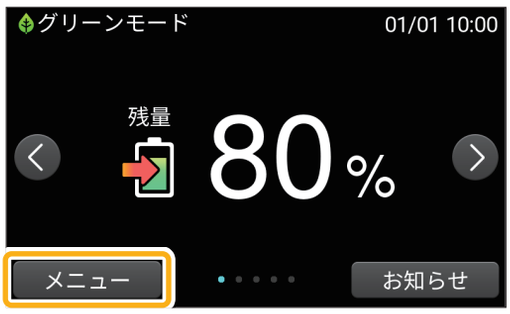
・停電などの非常時にも蓄電池の電力をご利用いただくためには、「非常時安心設定」を30%以上に設定することを推奨しています。
・実際の蓄電池残量は自然放電や温度変化の影響などにより、「非常時安心設定」の設定と若干の差を生じることがあります。



停電時に出力可能な電力を設定する

停電時に出力可能な電力を事前に設定しておきます。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

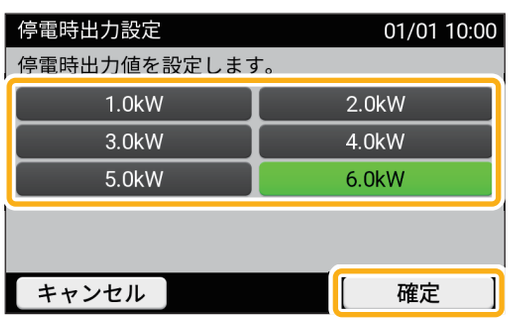


3 「停電時出力設定」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

・設定できる出力値は最大で6.0kWです。



外部電源を利用するためにリモコンを設定する

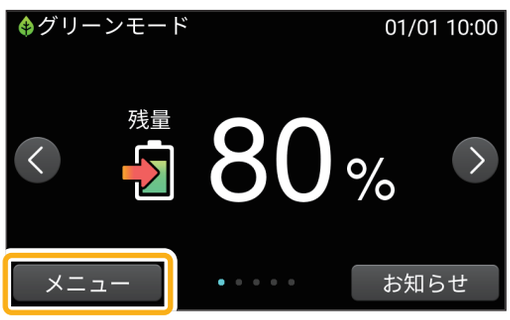
EX ボックス（オプション）を設置されている場合、外部電源の電力をご家庭に引込み利用できます。停電時に外部電源を利用することで、電気を利用することができます。
外部電源を利用するためには事前にリモコンを設定しておく必要があります。

操作	ページ
①「外部電源入力設定」を設定	→P.34
②「外部電源充電設定」を設定	→P.35
③「外部電源電力設定」を設定	→P.36
④リモコン画面の確認	→P.37

①外部電源入力を設定する

接続した外部電源の電力を利用するかどうかを設定します。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

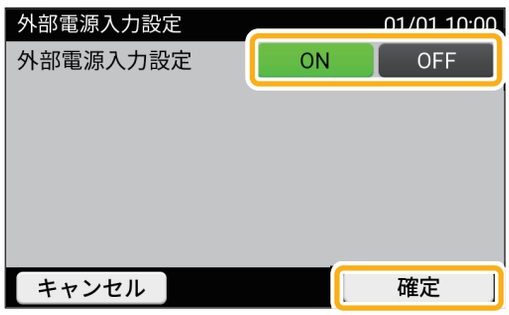


3 「外部電源入力設定」をタッチする



4 **項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする**

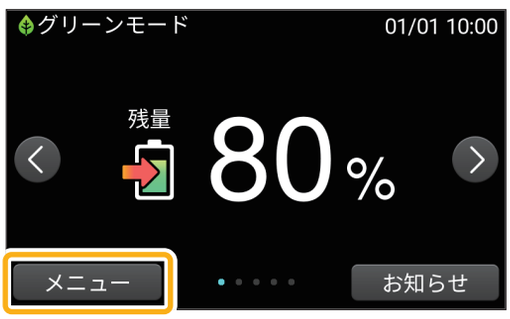
・外部電源を利用するときは「ON」を選択してください。



②外部電源充電を設定する

接続した外部電源を利用して本システムの蓄電池を充電するかどうかを設定します。

1 **トップ画面で「メニュー」をタッチする**



2 **「設定」をタッチする**

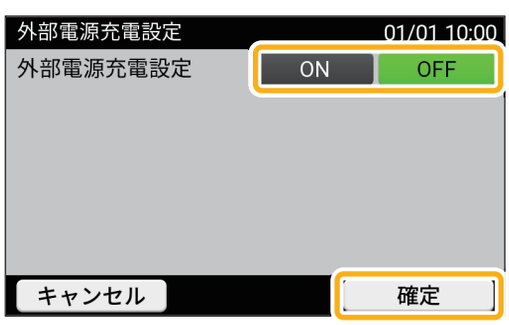


3 **「外部電源充電設定」をタッチする**



4 **項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする**

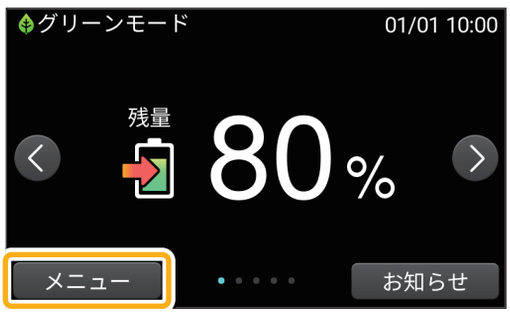
・外部電源の電力を蓄電池に充電するときは「ON」を選択してください。



③外部電源電力を設定する

接続を予定している外部電源の電力値を設定します。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



3 「外部電源電力設定」をタッチする



4 ▲▼で数値を入力したあと、「確定」をタッチする



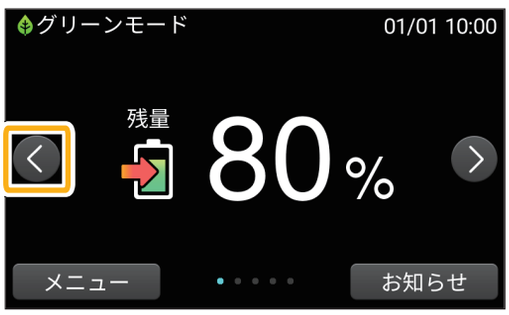
- 0.1kW単位で設定できます。
- 設定できる数値は最大で1.50kWです。
- 接続予定の外部電源より少し小さい値を設定します。
  例えば、定格出力1.0kWの外部電源を接続予定の場合、0.9kW程度に設定します。
- 外部電源として太陽光パワーコンディショナの自立出力を使用する場合は、自立出力の電力に合わせて設定してください。
  太陽光パワーコンディショナに接続されている太陽電池が1.2kW未満の場合は0.50kW、1.8kW未満の場合は1.00kWの設定を推奨します。

注意事項

- 外部電源が出力できる以上の電力値を設定すると、エラーが表示されます。エラーが表示された場合は、外部電源が出力できる電力値をご確認のうえ、再設定をしてください。
- 外部電源が停止したときは、リモコンにエラーが表示されていなくてもリモコンの設定値を見直してください。見直し時は「外部電源電力設定」の設定値を小さめにしてください。

④リモコン画面の確認

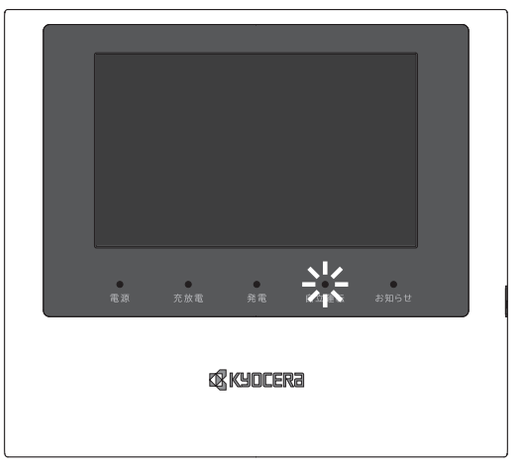
1 トップ画面で「＜」をタッチする



・電気の流れ画面が表示されます。
停電時に外部電源から電力が供給されているかご確認ください。供給されていない場合は設定を見直してください。
外部電源から電力が供給されているか確認するには停電状態にする必要があります。外部電源からの電力供給を確認するために停電状態にする場合、事前に通電されている機器の使用状況をご確認ください。
・配線などによりロスが生じるため、リモコンに表示される電力値は外部電源が供給する電力値と異なる場合があります。

停電発生時の操作

停電を検知すると自動で自立運転に切替わり、太陽光発電や蓄電池からの電力をコンセントに給電します。また、自立運転ランプが緑に点灯します。
本システムでの特別な操作は必要ありません。

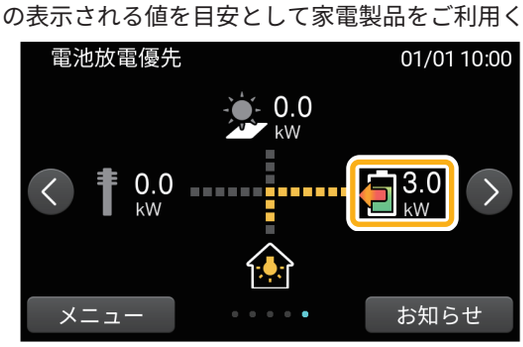


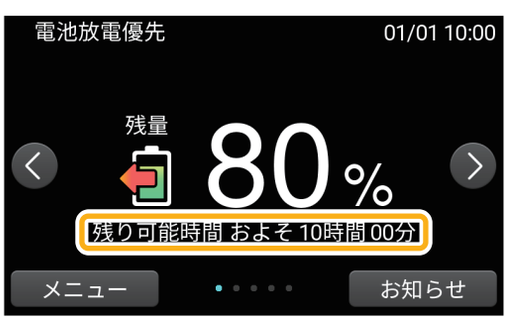
注意事項

・自立運転中に本システムを運転停止させないでください。
一度、運転を停止すると、太陽光発電電力か外部電源から電力供給が開始されるか、停電が解消されるまでは運転を再開することができません。
以下のいずれかの操作で本システムは運転停止となりますので、ご注意ください。
-リモコン本体の電源スイッチを「OFF」にする
-メニュー画面から運転停止の操作をする

お知らせ

・自立運転時に蓄電池から放電している場合、現在の放電電力から運転継続時間の目安を10分単位で表示します。この表示される値を目安として家電製品をご利用ください。





・運転継続時間はおおよその目安です。使用環境や使用される家電製品により表示されている時間と実際の運転時間に差が生じる場合があります。
・コンセントの消費電力が小さい（0.1kW未満）場合、運転継続時間は表示されません。
・燃料電池と連携している場合、燃料電池のリモコンに消費電力が正しく表示されないことがありますが異常ではありません。

停電時に外部電源を利用する（オプション）

停電発生時に外部電源機器を本システムと接続することで、電力供給や、蓄電池への充電に利用することができます。外部電源を利用するにはEXボックスを設置する必要があります（オプション）。
また、外部電源を利用するには、あらかじめリモコンで外部電源を利用するための設定をしておいてください（P.34）。

注意事項

・停電時、ご利用になっているシステムの条件により、リモコンの操作ができない場合があります。事前にリモコンを設定しておくことをおすすめします（P.29）。

お知らせ

・EXボックスはオプション機器です。EXボックスを新たに設置する場合は、販売会社にご連絡ください。

外部電源の準備をする

外部電源を利用するには次の機器を用意する必要があります。各機器の準備ができましたら、本システムと接続して電力供給を行います。

機器名	設置・保管場所
EXボックス	
EXケーブル	
外部電源	

お知らせ

・各機器の設置・保管場所の記入欄をご用意いたしましたので、万が一に備えてご記入ください。

外部電源で電力供給する

外部電源を利用するには、あらかじめリモコンで準備を行います（P.34）。次に外部電源を用意し、EXボックスのケーブルと接続することで利用できます。
AC100V出力用コンセントがあるさまざまな外部電源を利用でき、主な外部電源は次のものがあります。

・ハイブリッド車
・EV
・ポータブルバッテリー
・ガソリン発電機
・ガスボンベ発電機

注意事項

・濡れた手で配線をしないでください。感電のおそれがあります。

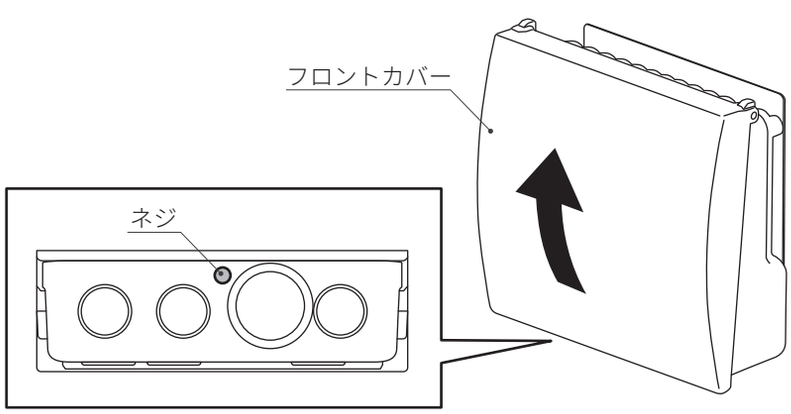
お知らせ

・利用できる外部電源は、AC100V出力の製品のみです。外部電源に使用する機器の仕様によっては利用できない場合があります。
・外部電源やEXケーブルに雨が直接当たらない場所を用意してください。
・EXケーブルは大切に保管してください。保管するときは次のことを守ってください。
- 箱に入れ、高温高湿の場所は避ける。
- 箱がつぶれがないように室内で保管する。
・EXボックスのフロントカバーは、停電時に外部電源を接続するとき以外は開けないでください。また、EXボックスを使わないときはしっかりネジを締めてください。
・EXボックスに破損が見つかった場合は、すみやかに販売会社へご連絡ください。
EXボックスに水が入ると感電・火災の危険があります。
EXボックス内に水が入っているときは使用を中止し、すみやかに販売会社にご連絡ください。

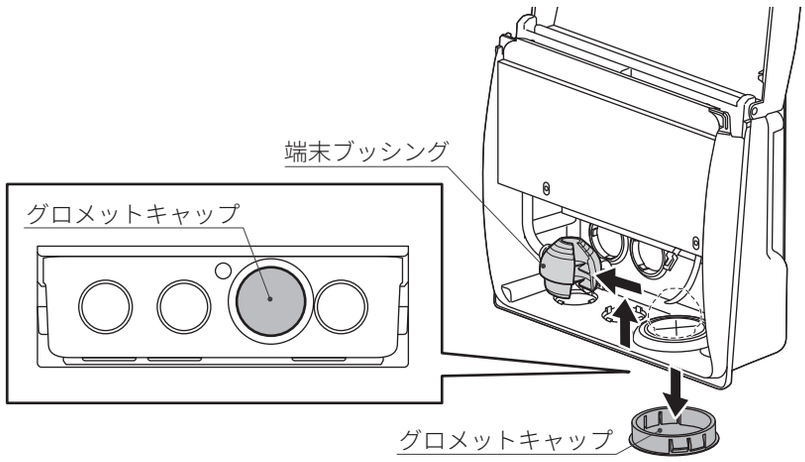
1 外部電源をEXボックスの近くに設置する

・外部電源は配線が完了するまで起動しないでください。

2 EXボックスのネジをゆるめ、フロントカバーを開ける

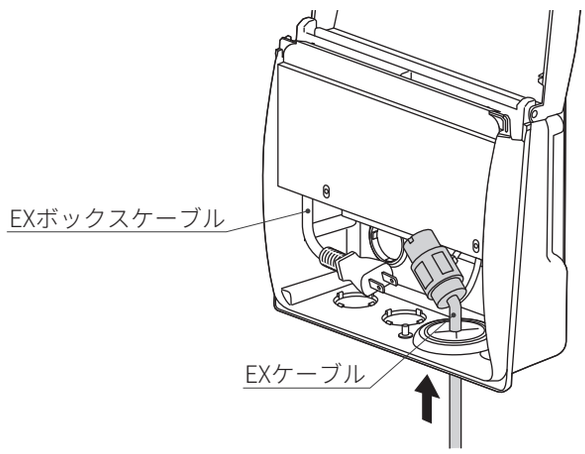


3 EXボックスのグロメットキャップと端末ブッシングを取外す



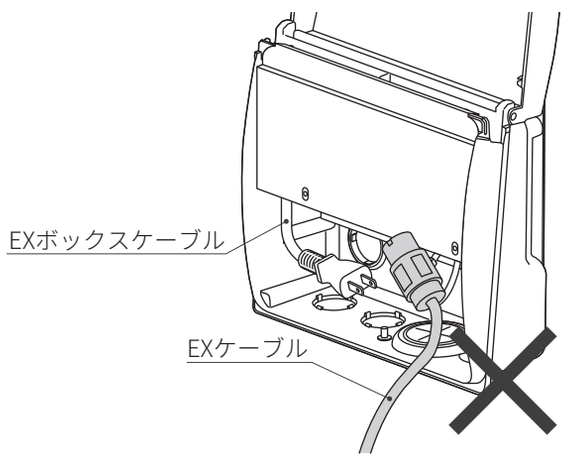
4 グロメットを通して、EXケーブルをEXボックスに引込む

・EXケーブルは、2mまたは10mのケーブルを利用できます。

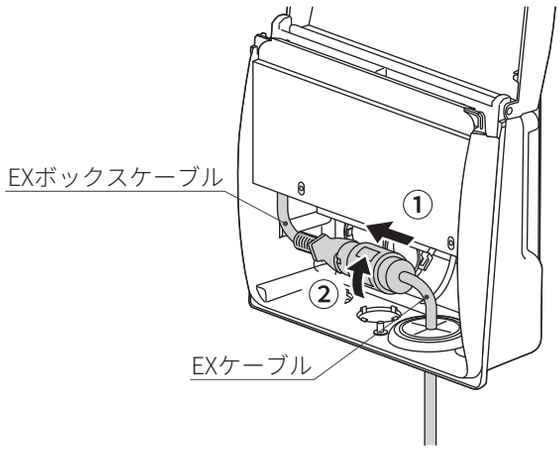


注意事項

・使用中はフロントカバーを閉じて使用してください。感電・火災・故障のおそれがあります。
・必ずグロメットからケーブルを引出してください。下図のようなケーブルの引出し方はしないでください。感電・火災・故障のおそれがあります。

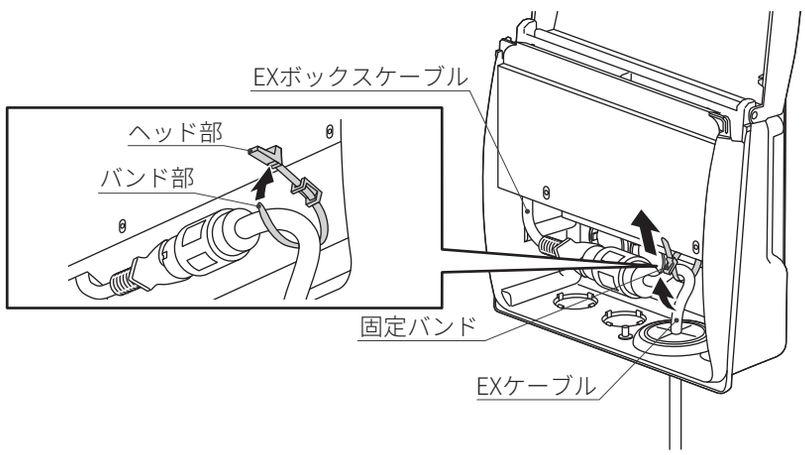


5 EXボックスケーブルにEXケーブルを接続し（①）、矢印の方向に回転して固定する（②）

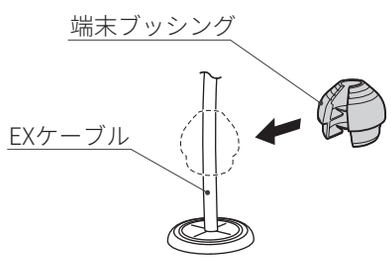


6 固定バンドでEXケーブルを固定する

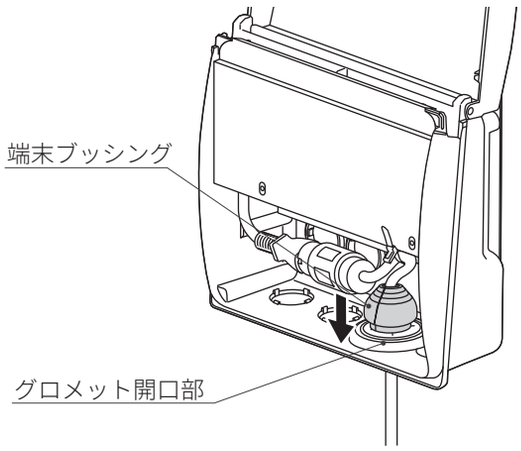
・EXケーブルを固定したら、固定バンドを回転させてバンド部の位置を調整してください。



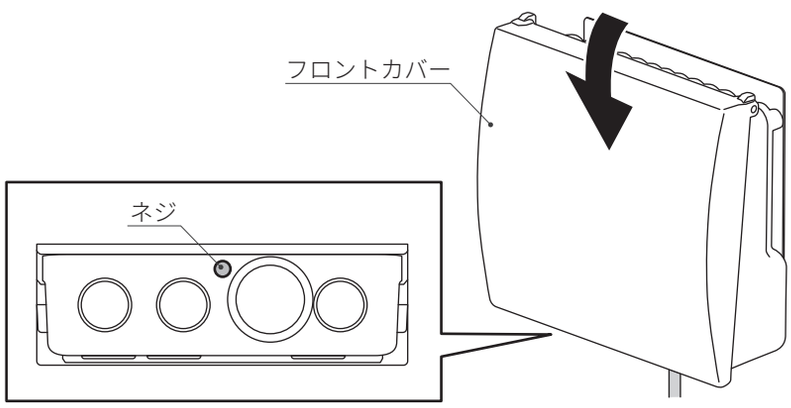
7 EXケーブルに端末ブッシングを取付ける



8 グロメット開口部に端末ブッシングを差込む



9 フロントカバーを閉め、ネジで固定する



10 EXケーブルを外部電源に接続する

注意事項

・EXボックスケーブル、EXケーブルは宅内のコンセントに接続しないでください。蓄電池の不要な放電、電力消費が起こる可能性があります。

11 外部電源を起動する

注意事項

・リモコンの設定が、外部電源を利用する設定になっているかご確認ください（P.34）。

お知らせ

・外部電源の起動方法については外部電源の取扱説明書をご参照ください。

停電復帰時の操作

停電から復帰したときに、本システムでの特別な操作は必要ありません。

お知らせ

・停電復帰しても、電力会社との協議で定められた時間内（最大300秒）は「準備中（パワーコンディショナ停止状態）」になります。
リモコン画面に表示された待機時間を経過すると、通常時のモードで動作します。
・停電時にEZP自動切替盤の切替スイッチを操作した場合は、切替スイッチを元に戻してください。

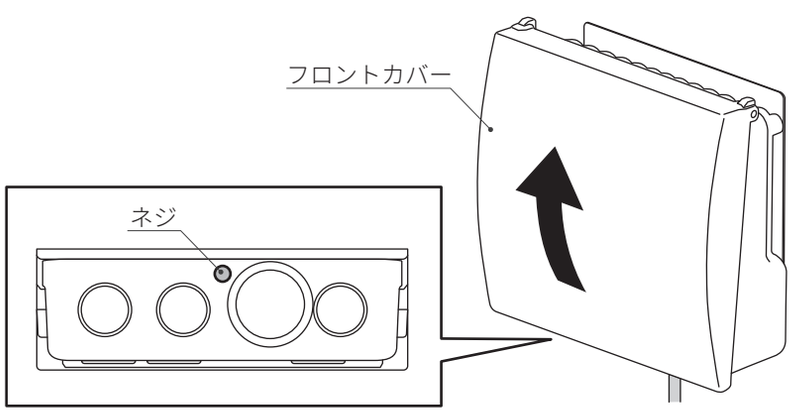
外部電源を片付ける

EX ボックス（オプション）から外部電源の接続を解除し、本システムから取外します。取外すときは、リモコンの設定を変更する必要はありません。

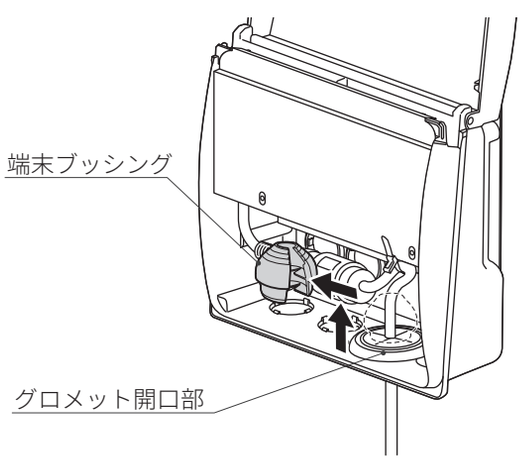
1 外部電源の動作を停止する

2 EXケーブルを外部電源から抜く

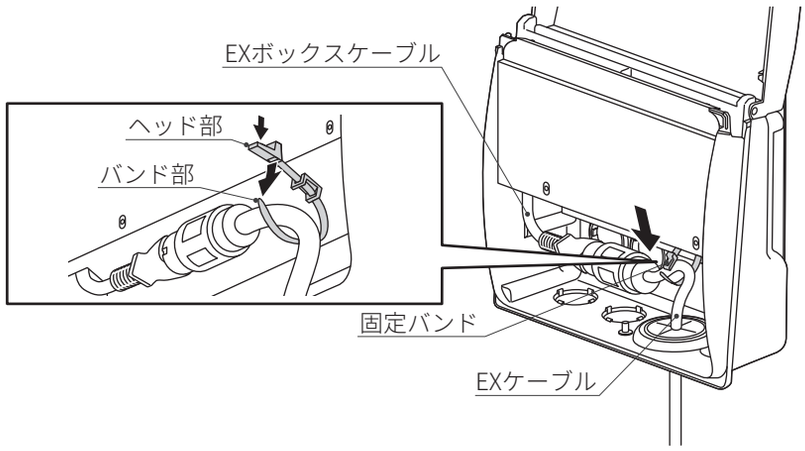
3 EXボックスのネジをゆるめ、フロントカバーを開ける



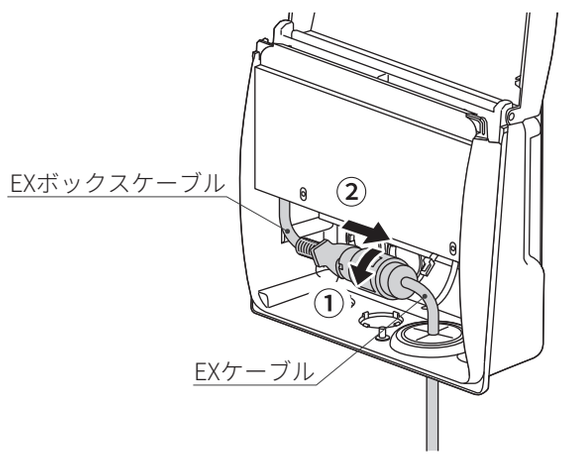
4 グロメット開口部から端末ブッシングを取外す



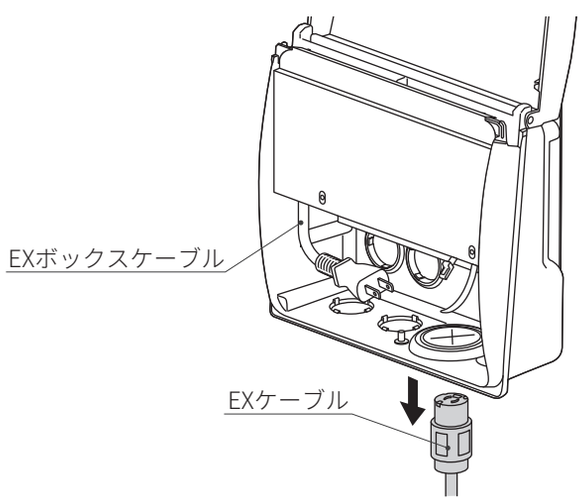
5 固定バンドのヘッド部をつまみ、バンド部をヘッド部から抜いて固定を解除する



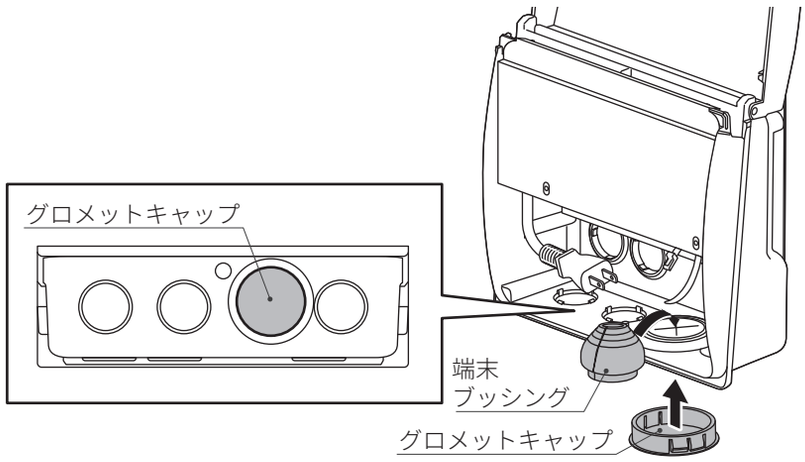
6 EXケーブルを矢印の方向に回転させ（①）、EXケーブルを抜く（②）



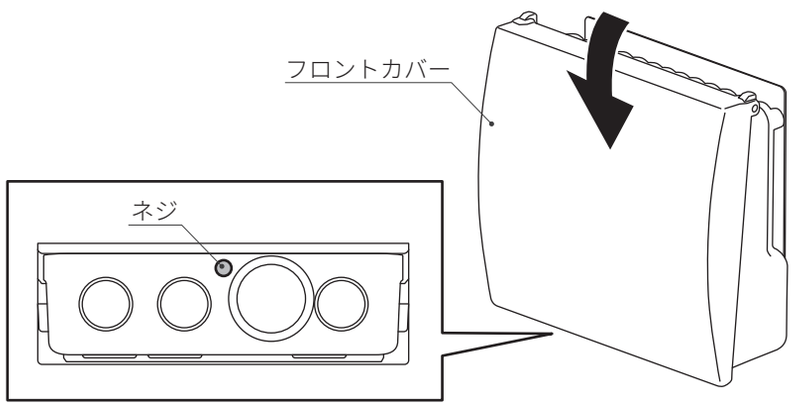
7 EXケーブルをグロメットから引出す



8 グロメットキャップと端末ブッシングをグロメットに取付ける



9 フロントカバーを閉め、ネジで固定する



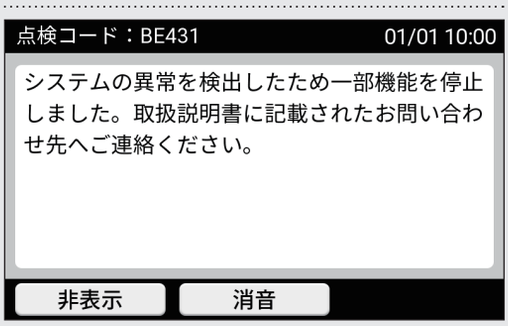
停電時に蓄電池残量がなくなってしまったときは

太陽光＋蓄電池・ 蓄電池のみ・

停電時に蓄電池残量がなくなってしまったときは、本システムが停止します。その場合、リモコン画面は真っ暗になり、画面をタッチしても何も表示されません。条件により次の操作を行って対処してください。

注意事項

- 停電時に蓄電池が使えない場合、「非常時運転モード」が「電池放電禁止モード」に設定されている可能性があります。「非常時運転モード」の設定をご確認ください（P.29）。
- 停電復帰し、日時がリセットされた場合には、「日時を設定する」（P.60）に従い、日時の設定を行ってください。
- 停電状態が長かった場合、右記の画面が表示されることがあります。その場合は、本システムの状態の確認が必要になるためお買い上げの販売会社にご連絡ください。



お知らせ

・停電時に蓄電池にエラーが発生したときでも、「太陽光発電」や「外部電源」を利用していて電力を放電できる場合は、電力供給を継続します。

太陽光発電ができる場合

太陽光＋蓄電池

日中など、太陽光発電ができる場合は自動的にリモコンに給電され、リモコンが使えるようになります。
このとき、本システムは非常時運転モードで運転を開始します。

注意事項

・蓄電池残量がない場合、蓄電池から放電されないため、太陽光発電電力のみが供給されます。そのため、コンセントに出力される電力は不安定となり定格電力を出すことができない可能性があります。
・蓄電池残量がなくなった場合には蓄電池残量0%から1%までの充電に時間がかかります。

1 リモコンが起動するのを待つ

・非常時運転モードで運転が開始します。

※「非常時運転モード」の設定により、下記の注意事項をご確認ください。

非常時運転モード	注意事項
電池放電優先モード／外部電源優先モード	太陽光発電電力を使用中は蓄電池にも充電されますが、充電した電力を使用することがあります。そのため十分な電力を蓄えられないことがあります。
電池放電禁止モード	蓄電池に十分に充電されるまでは、「電池放電禁止モード」での使用をおすすめします。

外部電源で電力供給できる場合（オプション）

外部電源を本システムに接続することで、リモコンが使えるようになります。

1 外部電源を利用する操作をする（P.40）

・非常時運転モードで運転が開始します。

Enerezza® Plus の通常の動作を知りたい（運転モードについて）

本システムは運転モードを設定することで、電気の充電／使用／売電のタイミングが自動的に設定されます（P.52）。
お客様のシステム構成をご確認いただき、下記のページをご参照ください。
●太陽光発電＋蓄電池→ P.48
●蓄電池のみ→ P.51
●太陽光発電のみ→ P.52

また次の条件により項目が異なる場合があります。
・ソフトウェアのバージョン
・お客様のシステム構成
・ご契約内容

「太陽光発電＋蓄電池」のときに使用できる運転モードについて 太陽光+蓄電池

本システムで「太陽光発電」と「蓄電池」を利用されている構成での、時間帯による電力の種類や、充電／売電の動作は次の内容をご参照ください。
※蓄電池台数によって充放電電力が異なります。（P.81）

■グリーンモード

こんな使いかた➡ できるだけ太陽光の電力を利用したい

日の出ている時間帯は太陽光発電の電力を使用し、余った電力は蓄電池に充電します。
それ以外の時間帯は蓄電池の電力を使用し、充電時間帯設定に従い蓄電池に充電します。

	日の出ている時間帯	左記以外
使用電力	**■放電時間帯の場合** ・太陽光発電した電力、蓄電池の電力を使用 ・太陽光発電した電力、蓄電池の電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用  **■充電時間帯の場合** ・太陽光発電した電力を使用 ・太陽光発電した電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用 	**■放電時間帯の場合** ・蓄電池の電力を使用 ・蓄電池の電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用  **■充電時間帯の場合** ・電力会社から電力を購入して使用 
充電／売電	**■放電時間帯の場合** ・太陽光発電した電力の余剰が出るときに充電 ・充電中に電力の余剰が出るときは売電  **■充電時間帯の場合** ・太陽光発電した電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して充電 ・充電中に電力が余った場合は売電 	**■放電時間帯の場合** ・充電／売電を行わない **■充電時間帯の場合** ・電力会社から電力を購入し蓄電池に充電 

■フルグリーンモード

こんな使いかた➡ **蓄電池への充電は電力購入せずに太陽光の電力を利用したい**

日の出ている時間帯は太陽光発電の電力を使用し、余った電力は蓄電池に充電します。
それ以外の時間帯は蓄電池の電力を使用します。蓄電池への充電は行いません。

	日の出ている時間帯	左記以外
使用電力	**■放電時間帯の場合** ・太陽光発電した電力､蓄電池の電力を使用 ・太陽光発電した電力、蓄電池の電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用  **■放電時間帯以外の場合** ・太陽光発電した電力を使用 ・太陽光発電した電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用 	**■放電時間帯の場合** ・蓄電池の電力を使用 ・蓄電池の電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用  **■放電時間帯以外の場合** ・電力会社から電力を購入して使用 
充電／売電	**■放電時間帯の場合** ・太陽光発電した電力の余剰が出るときに充電 ・充電中に電力の余剰が出るときは売電  **■放電時間帯以外の場合** ・太陽光発電した電力の余剰が出るときに充電 ・充電中に電力の余剰が出るときは売電 	**■放電時間帯の場合** ・充電／売電を行わない **■放電時間帯以外の場合** ・充電／売電を行わない

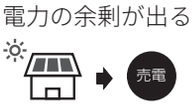
お知らせ

・本システムの蓄電池は、1週間に1回程度の満充電を必要とします。
フルグリーンモードで運転をしていると、日ごろから太陽光発電の電力では満充電にならない場合があります。
その場合は次の設定をお試しください。
-「非常時安心設定」の設定値（%）を上げる（P.32）
-「充電時刻」を設定できるグリーンモードで運転する（P.52）

■売電モード

こんな使いかた➡ できるだけ電力を売りたい

日の出ている時間帯は太陽光発電の電力を使用し、余った電力を売電します。蓄電池への充電は行いません。
それ以外の時間帯は蓄電池の電力を使用します。充電時間帯設定に従い電力会社から電力を購入し蓄電池に充電します。

	日の出ている時間帯	左記以外
使用電力	■放電時間帯の場合 ・太陽光発電した電力、蓄電池の電力を使用 ・太陽光発電した電力、蓄電池の電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用  ■充電時間帯の場合 ・太陽光発電した電力を使用 ・太陽光発電した電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用 	■放電時間帯の場合 ・蓄電池の電力を使用 ・蓄電池の電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用  ■充電時間帯の場合 ・電力会社から電力を購入して使用 
充電／売電	■放電時間帯の場合 ・太陽光発電した電力の余剰が出るときに売電  ■充電時間帯の場合 ・太陽光発電した電力の余剰が出るときに売電 	■放電時間帯の場合 ・充電／売電を行わない ■充電時間帯の場合 ・電力会社から電力を購入し蓄電池に充電 

■強制充電モード

こんな使いかた➡ 停電に備えて蓄電したい

充電時間帯、放電時間帯の設定によらず、充電を行います。充電完了後は待機状態になり、放電を行いません。
災害の備え等で充電のみを行いたい場合に設定します。
充電には太陽光発電の余剰電力および電力会社から購入した電力を使用します。

■待機モード

こんな使いかた➡ 充放電を止めたい

充電時間帯、放電時間帯の設定によらず、充放電を行わないモードです。
一定期間、充放電を止めたい場合に設定します。通常は使用しません。

「蓄電池のみ」のときに使用できる運転モードについて

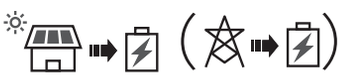
蓄電池のみ

太陽光発電システムが併設されている場合は発電した電力を蓄電池に充電します。太陽光発電システムが併設されていない場合は、電力会社から購入した電力のみを充電します。
※蓄電池台数によって充放電電力が異なります。（P.81）

■グリーンモード

こんな使いかた➡ **放電時刻に蓄電池の電力を使いたい**

充電時刻、放電時刻の設定に従い蓄電池の充放電を行います。

蓄電池からの充放電状態	充電時間帯	放電時間帯
放電 **（使用される電力）**	・放電動作なし	・太陽光発電システムの発電が不足（発電なしを含む）しているときは蓄電池から放電  ・蓄電池から電力を放電しても電力が不足しているときは電力会社から電力を購入して使用 
充電	・太陽光発電システムの発電がないときは電力会社から電力を購入して充電  ・充電中に太陽光発電による電力の余剰が出るときは売電 	・充電動作なし

■強制充電モード

こんな使いかた➡ **停電に備えて蓄電したい**

充電時間帯、放電時間帯の設定によらず、充電を行います。充電完了後は待機状態になり、放電を行いません。
災害の備え等で充電のみを行いたい場合に設定します。
充電には電力会社から購入した電力を使用します。

■待機モード

こんな使いかた➡ **充放電を止めたい**

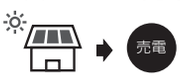
充電時間帯、放電時間帯の設定によらず、充放電を行わないモードです。
一定期間、充放電を止めたい場合に設定します。通常は使用しません。

「太陽光発電のみ」のときの通常動作について

太陽光のみ

本システムで「太陽光発電」を利用する構成での、時間帯による電力の種類や、売電の動作は次の内容をご参照ください。

こんな使いかた➡ 太陽光発電の電力を利用したい

	本システムの動作
使用電力	・太陽光発電した電力を使用 ・太陽光発電した電力が不足した場合は電力会社から電力を購入して使用 ・太陽光発電で発電できない場合は電力会社から電力を購入して使用 
売電	・太陽光発電による電力の余剰が出るときは売電 

通常の使いかたを設定する

運転モードを設定することで、本システムの通常の動作を設定することができます。お買い上げのシステム構成の手順をご参照ください。

お客様のシステム構成をご確認いただき、下記のページをご参照ください。

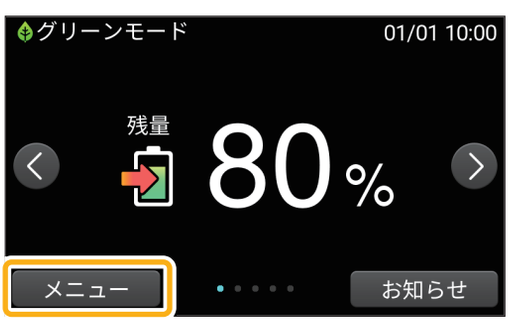
●太陽光発電＋蓄電池→ P.52
●蓄電池のみ→ P.53
●太陽光発電のみ→ P.54

「太陽光発電＋蓄電池」での設定をする

太陽光＋蓄電池

本システムで「太陽光発電」と「蓄電池」を利用する構成での、運転モードの設定方法は次のとおりです。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

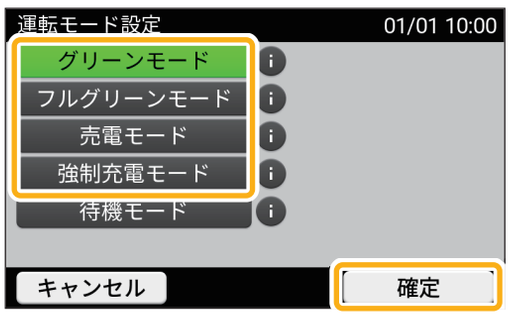


3 「運転モード」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

・ⓘをタッチすると運転モードの説明が表示されます。



■カスタマイズするには

カスタマイズするには次のページをご参照ください。

➡「充電時刻／放電時刻を設定する」へ P.55

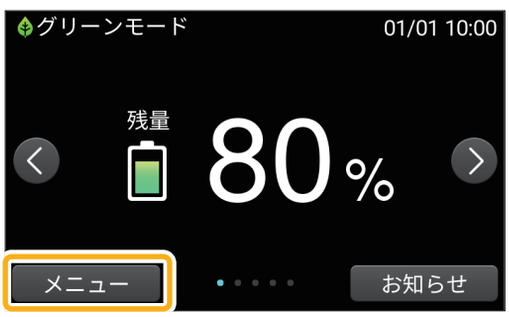
➡「夜間充電量を設定する」へ P.57

「蓄電池のみ」での設定をする

蓄電池のみ

本システムで「蓄電池」を利用する構成での、運転モードの設定方法は次のとおりです。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする

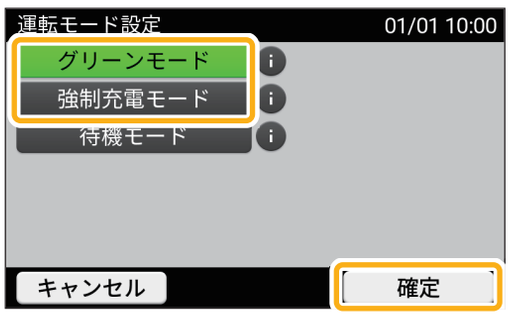


3 「運転モード」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

・ⓘをタッチすると運転モードの説明が表示されます。



■カスタマイズするには

カスタマイズするには次のページをご参照ください。

➡「充電時刻／放電時刻を設定する」へ P.55

➡「夜間充電量を設定する」へ P.57

「太陽光発電のみ」での設定をする

太陽光のみ

太陽光発電のみの利用の場合は、運転モードの設定はできません。運転の開始／停止のみ行えます。開始／停止の操作は「システムを停止／開始する」（P.72）と同じ操作になります。

蓄電池の充放電の動作をカスタマイズする

太陽光＋蓄電池・ 蓄電池のみ・

本システムで蓄電池を利用している場合、充放電に関する通常動作をカスタマイズすることができます。

充電時刻／放電時刻を設定する

運転モードによっては充電時刻／放電時刻の両方、または片方を設定することができます。運転モードの違いにより設定できる時間については下記の表をご参照ください。

運転モード	充電時刻	放電時刻
グリーンモード	○	○
フルグリーンモード	―	○
売電モード	○	○
強制充電モード	―	―

お知らせ

・工場出荷時の設定は次のとおりです。
「充電開始時刻／停止時刻」：23時05分～06時59分
「放電開始時刻／停止時刻」：10時00分～22時59分
・HEMS機器など制御機器に接続した場合、制御方法によっては満充電にならない場合があります。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



3 「充電時刻」／「放電時刻」をタッチする



4 「←」／「→」をタッチして変更したい数字にカーソルを移動する

・変更したい数字をタッチすることでカーソルを移動させることもできます。



5 開始時刻、停止時刻を入力する

・時刻は24時間表記で入力してください。
・放電時刻を設定するときは、開始時刻と停止時刻は3分以上の間隔をあけてください。



注意事項

・1週間以内を目安に満充電になるように「充電時刻」を設定してください。
長期間満充電にならない場合、蓄電池の使用可能量が減少する可能性があります。
・充電目安時間は約4.5時間（25℃条件）です。使用温度範囲内であっても低温環境下では蓄電池保護のために充電時間が延びる場合があります。

6 「確定」をタッチする

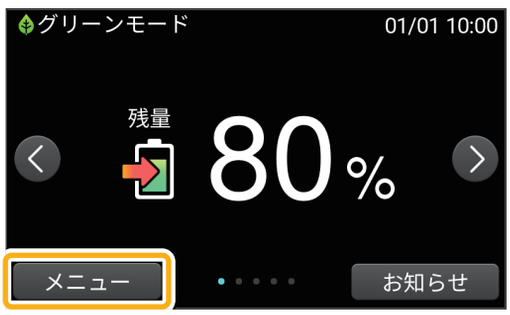


夜間充電量を設定する

太陽光＋蓄電池・蓄電池のみ・

充電時間帯に充電しておく充電量を設定します。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



3 「夜間充電量設定」をタッチする



4 ▲▼で数値を入力したあと、「確定」をタッチする

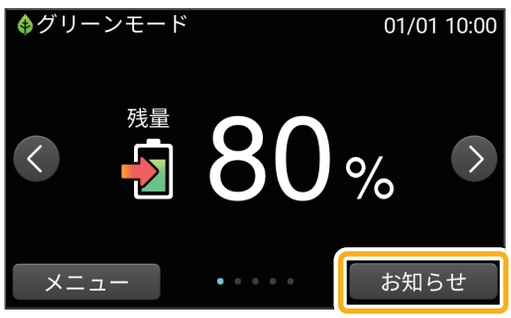
・10%単位で設定できます。



お知らせを確認する

お知らせがある場合は、お知らせランプ（P.14）が点灯・点滅します。

1 トップ画面で「お知らせ」をタッチする



2 表示したいお知らせをタッチする

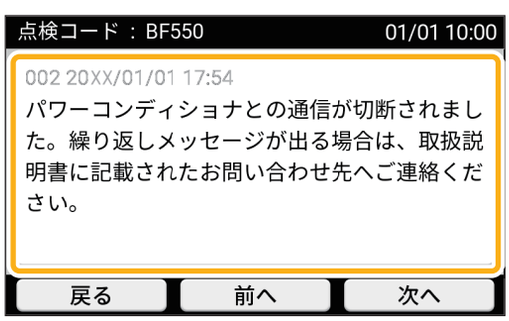
・未読／既読によってアイコンの色が変わります（未読：白／既読：グレー）。
・リストには最大10件のお知らせが表示されます。
・古い日付のデータから自動的に削除されます。



3 お知らせの内容を確認する

・下段のボタンで次の操作ができます。
戻る：お知らせ一覧画面に戻ります。
次へ：お知らせ一覧の上のお知らせを表示します。
前へ：お知らせ一覧の下のお知らせを表示します。

※メッセージ内に「再起動をしてください」の記載があっても、お知らせ画面には再起動ボタンは表示されません。再起動ボタンはエラーメッセージ表示時（P.76）に表示されます。

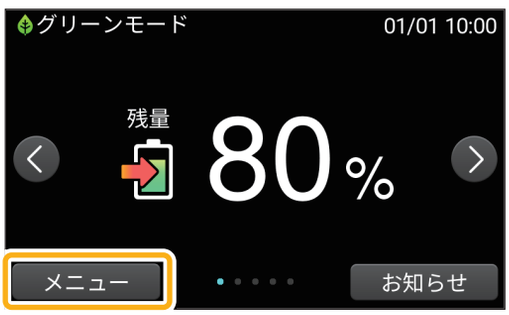


充放電を一時的に止める

太陽光＋蓄電池・蓄電池のみ・

故障以外で充放電を止めたい場合は、「待機モード」に設定してください。
充放電を再開したい場合は、「グリーンモード」など、「待機モード」以外の運転モードに設定します。設定方法は「通常の使いかたを設定する」（P.52）を参照してください。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



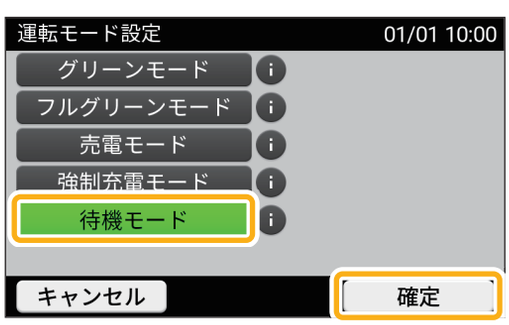
2 「設定」をタッチする



3 「運転モード」をタッチする



4 「待機モード」を選択したあと、「確定」をタッチする



お知らせ

・「待機モード」設定時でも、蓄電池の過放電を防ぐため、自動的に充電する場合があります。

日時を設定する

日時は通常、ネットワーク経由で自動補正されます。手動で日時を設定する場合はこのページの操作を行ってください。

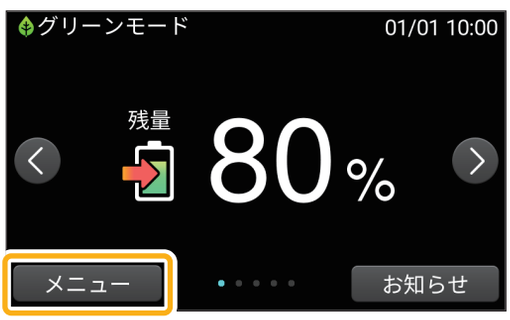
注意事項

・日時がずれていると、割高な電気料金の時間に充電を行ってしまうなど、予期せぬ事態が発生する場合があります。必要に応じて手動で日時を設定してください。

お知らせ

・電力会社の遠隔出力制御に従うときに時間が大きく異なる場合はお買い上げの販売会社にご相談ください。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



3 「現在日時」をタッチする



4 「←」／「→」をタッチして変更したい数字にカーソルを移動する

・変更したい数字をタッチすることでカーソルを移動させることもできます。



5 現在日時を入力する

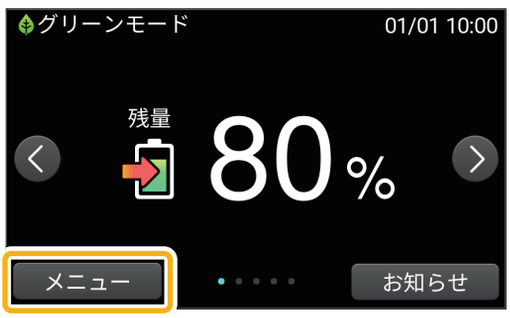
・時刻は24時間表記で入力してください。



画面の明るさを変更する

タッチパネルの明るさを設定できます。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



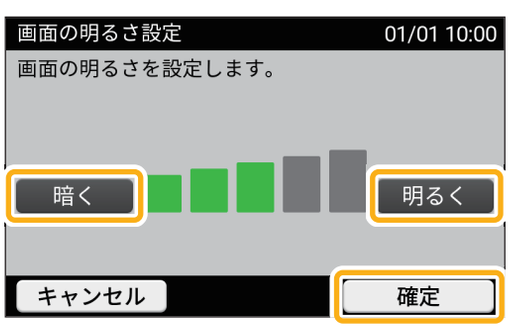
2 「設定」をタッチする



3 「画面の明るさ」をタッチする



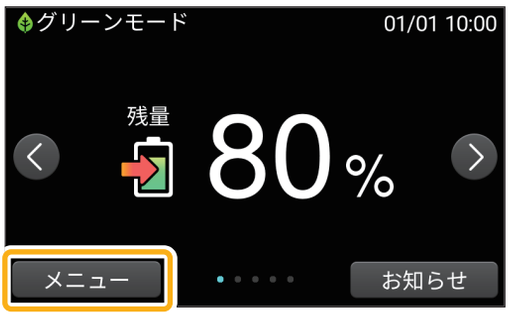
4 「暗く」／「明るく」をタッチして調整したあと、「確定」をタッチする



画面オフ時間を変更する

タッチパネルを操作していないときに、画面が消灯するまでの時間を設定できます。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



3 「画面オフ時間」をタッチする



4 ▲▼で時間を設定したあと、「確定」をタッチする

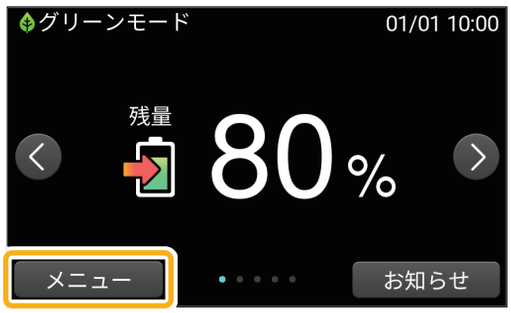
・設定できる時間は最大で10分です。



操作音を変更する

画面操作音の「ON」／「OFF」を設定できます。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



3 「操作音」をタッチする



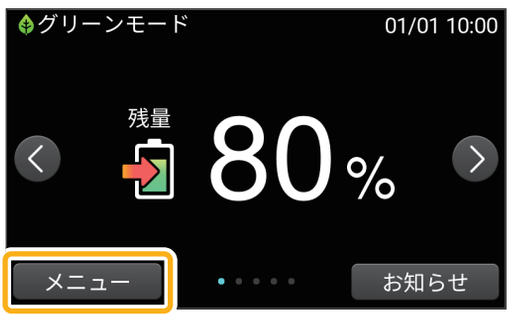
4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする



アンペアブレーカ値を変更する

電力会社との契約容量に合わせて設定してください。通常は変更する必要はありません。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「設定」をタッチする



3 「アンペアブレーカ値」をタッチする



4 項目をタッチして選択したあと、「確定」をタッチする

・電力会社との契約容量に合わせて設定してください。契約容量と同じ値がない場合は、契約容量よりも小さな直近の値を選択してください。
・アンペアブレーカがない場合は「制限なし」を選択してください。



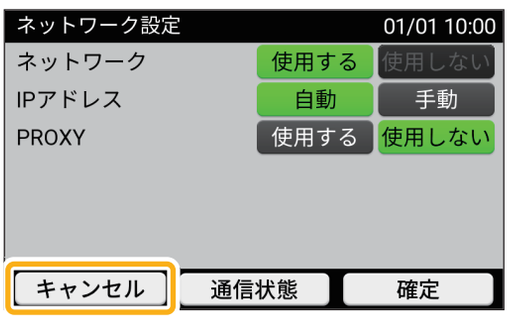
ネットワークの設定について

注意事項

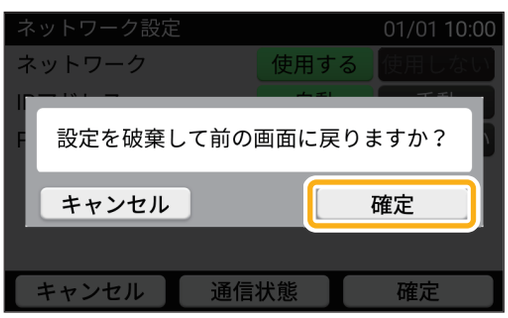
・ネットワーク設定では不必要な変更はしないようにしてください。
誤って設定変更すると、ハウスマイル ネットワークとの通信ができなくなります。

誤ってネットワーク設定画面に入ってしまったときは

1 「キャンセル」をタッチする



2 「確定」をタッチする



ネットワークの通信状態を確認する

ネットワーク通信の状態確認が必要になるのは、Enerezza Plusがハウスマイル ネットワークへ定期的にデータ送信を行っていないと思われるときです。
具体例として、次の現象が起こっているときはネットワークの通信状態を確認してください。
・ハウスマイル ネットワークで表示される充放電の数値が変わらない
・ハウスマイル ネットワークで表示されるグラフに欠けがある

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



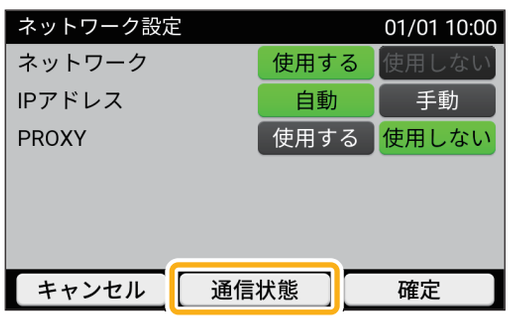
2 「設定」をタッチする



3 「ネットワーク」をタッチする



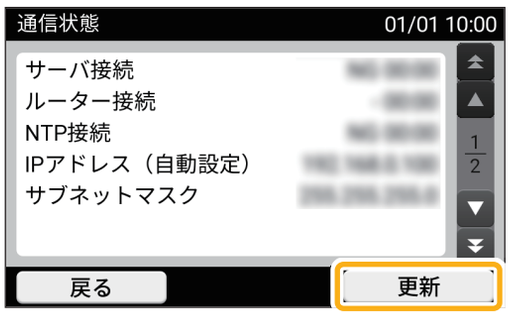
4 「通信状態」をタッチする



5 「更新」をタッチする

・更新後、リモコンの表示が次の状態になっていれば正常です。

通信モデム使用時	
サーバ接続	OK
ルーター接続	NG
NTP接続	OK
有線LAN接続時	
サーバ接続	OK
ルーター接続	OK
NTP接続	OK



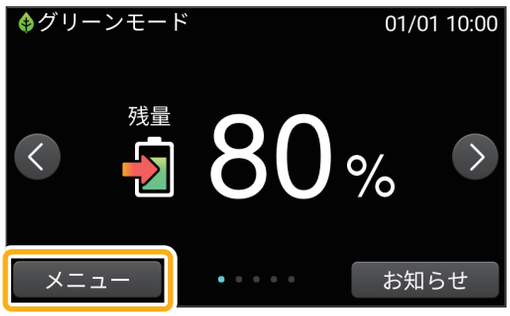
お知らせ

・サーバ接続が数日間NGの場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
・通信モデムのみを使用している場合、ルーターには接続されていないため「ルーター接続」は「NG」になりますが、問題ありません。

機器情報（ゲートウェイ ID など）を確認する

本システムの機器情報を確認できます。

1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「機器情報」をタッチする

・機器情報一覧が表示されます。



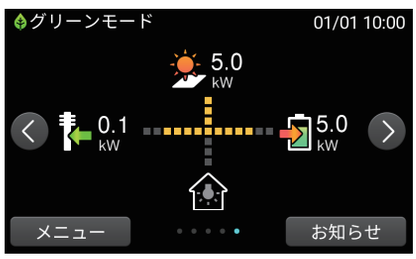
■機器情報一覧

項目	内容
蓄電システム	本システムに関する情報を表示します。 **■情報** **型式／容量／ゲートウェイID／サイクルカウント**
蓄電池ユニット1 **蓄電池ユニット2** **蓄電池ユニット3**	接続している蓄電池に関する機器情報を表示します。 蓄電池が複数台接続されている場合は、「蓄電池ユニット1」～「蓄電池ユニット3」と表示されます。 **■情報** **型式／蓄電池製造番号／BMS製造番号／Ver.**
パワーコンディショナ	本システムで利用しているパワーコンディショナに関する機器情報を表示します。 **■情報** **型式／製造番号／Ver.／定格出力**
リモコン	本システムで利用しているリモコンに関する機器情報を表示します。 **■情報** **型式／製造番号／Ver.／出力制御Ver.**
通信モデム	本システムで利用している通信モデムに関する機器情報を表示します。 **■情報** **型式／ICCID**
ECHONET Lite	本システムで利用しているECHONET Liteに関する機器情報を表示します。 **■情報** **Ver.**
特定計量値	本システムで利用している特定計量値に関する機器情報を表示します。 **■情報** **交流入力電力量／交流出力電力量**

お困りのときは

<table>
<tr><th>状態</th><th>対処方法</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>ブザーが鳴った</td><td>ブザーが鳴ったときは、リモコンの画面に表示されるメッセージの内容に従って処置してください。</td><td>P.76</td></tr>
<tr><td>お知らせランプが点滅している</td><td>お知らせランプが点滅しているときは、リモコンの画面に表示されるメッセージの内容に従って処置してください。</td><td>P.14</td></tr>
<tr><td>製品から音が発生する</td><td>以下の音は本製品の異常ではありません。
ジィージィー音 / チリチリ音 / チャリチャリ音：製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
カチャ音：製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。（運転開始時と、停止時に発生）
ブーン音：ファンの音です。
※運転時の動作音は、聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>アンペアブレーカが頻繁に落ちる</td><td>本システムが充電動作中にアンペアブレーカが頻繁に落ちる場合は、アンペアブレーカ値の設定に間違いがないかご確認ください。設定に間違いがない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。</td><td>P.65</td></tr>
<tr><td>リモコンが動かなくなった</td><td>リモコンの画面をタッチしても反応しない場合は、リモコンの電源スイッチを「OFF」にし1分程度経過後、電源スイッチを「ON」にしてください。
頻繁に発生するときは何らかの異常が考えられますので、お買い上げの販売会社にご連絡ください。</td><td>P.14</td></tr>
<tr><td rowspan="2">リモコン画面が表示されない</td><td>停電状態以外で、リモコン画面が表示されない場合は、リモコンの電源スイッチが「OFF」になっているか、リモコンが故障している可能性があります。リモコンの電源スイッチが「OFF」の場合は、電源スイッチを「ON」にしてください。それ以外の場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。</td><td>P.14</td></tr>
<tr><td>停電状態でリモコン画面が表示されない場合は、蓄電池残量がない場合も考えられます。
「停電時に蓄電池残量がなくなってしまったときは」（P.46）の処置を行ってもリモコン画面が表示されない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。</td><td>裏表紙</td></tr>
<tr><td>蓄電池の残量表示が100%にならない
太陽光＋蓄電池 蓄電池のみ</td><td>蓄電池は温度により充電が抑制されることがあるため十分な充電時間を確保しているにもかかわらず、満充電にならないことがあります。
充電目安時間は約4.5時間ですが、低温環境下においては充電時間が10時間以上かかる場合があります。</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="2">夜間充電量設定で設定した量の充電ができない
太陽光＋蓄電池 蓄電池のみ</td><td>蓄電池は温度により充電が抑制されることがあるため十分な充電時間を確保しているにもかかわらず、指定のパーセントまで充電できないことがあります。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>指定のパーセントでご利用中に蓄電池の電力が不足する場合は、設定を見直してください。</td><td>P.57</td></tr>
<tr><td>契約容量を変更したときは</td><td>電力会社との契約容量を変更したときは、アンペアブレーカ値も変更してください。</td><td>P.65</td></tr>
<tr><td>充放電電力が抑制される
太陽光＋蓄電池 蓄電池のみ</td><td>パワーコンディショナの温度が高い場合に、太陽光発電の電力や、蓄電池の充放電電力が抑制され「温度抑制中」と表示されることがあります。
2〜3日この状態が続くときは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
蓄電池の温度が低い、もしくは高い場合も充放電電力が抑制される場合がありますが故障ではありません。また、お客様の契約内容によって外部機器やサーバから充放電電力が抑制される場合があります。この場合は、「温度抑制中」と表示されません。

</td><td>裏表紙</td></tr>
</table>

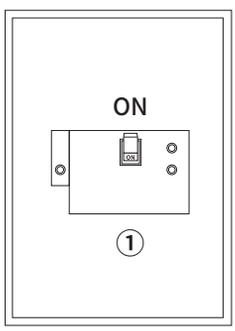
状態	対処方法	ページ
リモートが表示される	HEMS機器など制御機器やサーバから制御されている場合に表示されます。 なお、リモート表示中もリモコン画面からの操作は可能です。	—
リモコン表示が頻繁に切替わる	家庭内の消費電力が100W未満の場合、および家庭内の消費電力と太陽光発電の電力がほぼ同じになる場合、リモコンの表示が放電と待機で繰り返し切替わることがあります。	—
蓄電池利用時の電力が十分なのに買電される 太陽光＋蓄電池	太陽光発電をしていないとき、もしくは太陽光発電の電力が消費電力を下回り蓄電池から放電されているときは、本システムが家電製品に対して十分な電力を放電していても微量の電力を買電する制御を行っています。	—
太陽光発電時に余剰充電しているのに売電される 太陽光＋蓄電池	太陽光発電電力の余剰分を蓄電池に充電する場合、太陽光発電の電力が変動しても買電とならないよう、微量の電力を売電する制御を行っています。 	—
外部電源機器の動作が停止する	EXボックス（オプション）を利用し本システムに外部電源機器を接続して使用中に、外部電源機器の動作が停止する場合があります。その際は外部電源機器を操作して正常に動作するか確認し、外部電源電力の設定を見直してください。	P.36
外部電源機器の停止後に再起動させる	EXボックス（オプション）を利用し本システムに外部電源機器を接続して使用中に、外部電源機器の動作が停止し外部電源機器の再起動が必要になる場合があります。外部電源機器の再起動後、正常に動作するか確認してください。	—
外部電源を利用できない	EXボックス（オプション）を利用し本システムに外部電源機器を接続して使用する際に、外部電源機器から電力が供給できないことがあります。その際は、本システムより外部電源機器を外して正常に動作するか確認し、外部電源電力の設定を見直してください。	P.36
外部電源からの電力が過負荷になった	EXボックス（オプション）を利用し本システムに外部電源機器を接続して使用中に、外部電源機器が過負荷により停止する場合があります。その際は外部電源電力の設定や使用する電気機器を見直してください。	P.36
外部電源からの電力が不足した	EXボックス（オプション）を利用し本システムに外部電源機器を接続して使用する際に、外部電源機器からの電力が不足する場合があります。その際は外部電源電力の設定や使用する電気機器を見直してください。	P.36
設定情報をリセットしたい	設定情報をリセットする（初期状態に戻す）場合は、トップ画面の「メニュー」→「設定」の画面から「設定リセット」>「確定」をタッチしてください。 「設定リセット」を行うとリモコンが再起動し、運転停止になります。 運転開始をする場合は「運転を開始する」（P.8）をご確認ください。  ●廃棄時や家の売却時など本製品を手放す際は、残留した設定情報が第三者に確認されるリスクを防ぐため「設定リセット」を行ってください。	—

長期不在になる

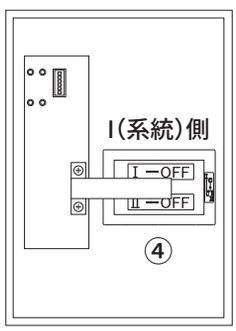
コンセントに接続されている家電製品を含め、家電製品に電気を供給したくない場合は、下記の状態に設定変更してください。

ブレーカ	状態
家庭用分電盤内の主幹ブレーカ③	OFF
EZP自動切替盤の切替スイッチ④	Ⅰ（系統）

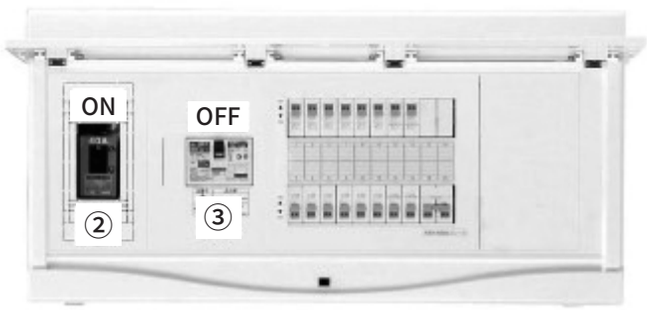
分電盤、ブレーカの配置例



蓄電システム用漏電ブレーカ



EZP自動切替盤



家庭用分電盤

①：蓄電システム用漏電ブレーカ
②：契約ブレーカ
③：主幹ブレーカ
④：切替スイッチ

注意事項

・長期間、蓄電池が充電されない場合、蓄電池が過放電状態になるおそれがあり、その影響で蓄電池が使用できなくなる可能性があります。
長期間、蓄電システム用漏電ブレーカ（①）を「OFF」にする必要がある場合は、お買い上げの販売会社にご相談ください。

システムを停止／開始する

蓄電池利用時の本システムの運転を停止することはできますが、通常は運転停止しないでください。常時稼働する仕組みとなっているため、運転を停止すると不具合が起こる場合があります。

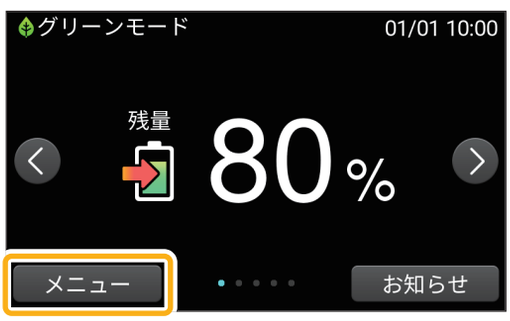
注意事項

- 故障時以外は、蓄電システム用漏電ブレーカ、契約ブレーカ、主幹ブレーカを「OFF」にしないでください。
- 本システムへの電力が遮断されると蓄電池が充電されないため、本システム内部の電力消費により蓄電池が過放電状態になります。この状態が長期間継続すると、蓄電池を使用できなくなる可能性があります。

本システムを停止するには、以下の手順で行ってください。

システムを停止する

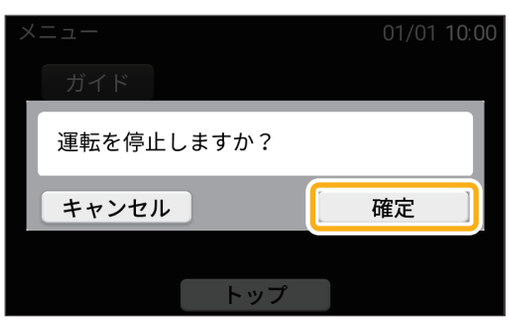
1 トップ画面で「メニュー」をタッチする



2 「運転停止」をタッチする



3 「確定」をタッチする



4 リモコンの電源スイッチを「OFF」にする

5 蓄電システム用漏電ブレーカを「OFF」にする

システムを起動する

本システムを起動するには、以下の手順で行います。

1 蓄電システム用漏電ブレーカを「ON」にする

2 リモコンの電源スイッチを「ON」にする

注意事項

・右の画面表示中はリモコンの電源スイッチを切らないでください。

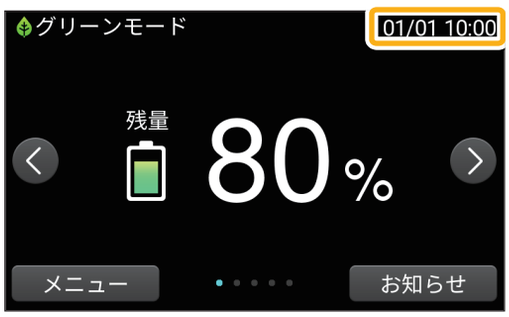


3 リモコンの日付と時刻を確認する

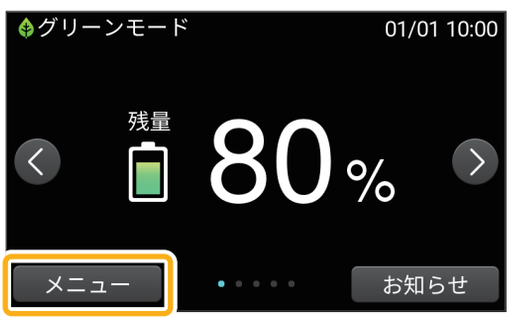
・リモコンの画面右上に表示している日付と時刻を確認してください。

注意事項

・現在日時と大きく異なる場合はリモコンの通信状態を確認してください（P.66）。通信状態が悪く、リモコンの表示している日時が現在日時にならない場合は、日付および時刻を手動で設定してください（P.60）。
リモコンの日付、時刻が大きく異なると、運転開始時にエラーが発生する可能性があります。



4 「メニュー」をタッチする

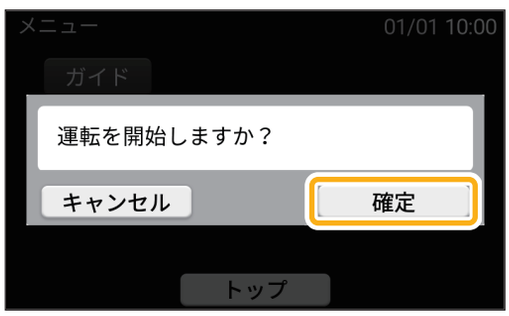


5 「運転開始」をタッチする



6 「確定」をタッチする

・運転を開始するまでに時間がかかることがあります。



お知らせ

・メンテナンスモード中に運転停止した場合、「待機モード」で運転再開します。
「通常の使いかたを設定する」（P.52）に従って、運転モードも変更してください。

風水害時の対応

風水害時は次の対応を行ってください。

風水害時に水没のおそれがあるとき

1 本システムを停止する（P.72）

・本システムが水没する前にあらかじめ運転を停止させます。

注意事項

・運転開始する場合は、被害状況に応じてお買い上げの販売会社までご連絡ください。

風水害時に水没したとき

水害、地震などの災害により水没（一部浸水を含む）、破損した蓄電システムにはむやみに近づかず、触らないでください。
感電・発煙・発火・火災などのおそれがあります。
お買い上げの販売会社までご連絡ください。
水害の際の蓄電システムの取扱いに関する注意点（一般社団法人日本電機工業会ホームページ）についてもご確認ください。
https://www.jema-net.or.jp/randb-archives/DS5245_201604.pdf

地震時の対応

地震時は次の対応を行ってください。

1 本システムの状況を確認する

・地震により本システムの機器に故障や破損があるか確認します。問題がある場合は次の手順に進みます。

2 お買い上げの販売会社まで連絡する

・地震後にリモコンの電源スイッチを「OFF」にしたり、蓄電システム用漏電ブレーカを「OFF」にしたりした場合は、必ずEZP自動切替盤内の切替スイッチを「I（系統）」側に切替えてください。

エラーメッセージが表示されたら

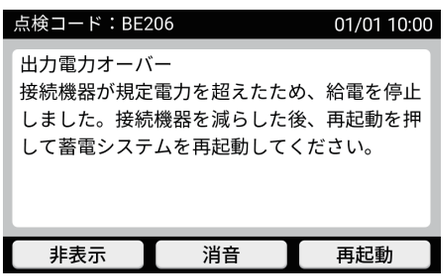
エラーメッセージが表示されたときは、本製品の故障が考えられます。エラーメッセージ一覧に従い、すみやかに処置してください。

故障したまま放置すると蓄電池に充電されない状態が続きますが、本システムの電力消費により蓄電池からの給電を続けることになります。この状態が続くと、蓄電池の充電量が低下し過放電になるため、本システムを利用できなくなるおそれがあります。

お買い上げの販売会社もしくは、弊社専用ダイヤルにご連絡いただく際は、型式、製造番号、点検コードをご連絡ください。

お知らせ

- 「非表示」をタッチすると、エラーメッセージ画面が解除されます。エラー状態が継続している場合には、解除後も約60秒すると、再度エラーメッセージが表示されます。
- BF100など一部のエラーを除きエラーメッセージが表示された場合は、ブザーが鳴ります。「消音」をタッチすると、その都度ブザー音を消すことができます。



エラーメッセージ一覧

点検コード	エラーメッセージ	処　置
BExxx	システムの異常を検出したため運転を停止しました。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	EZP自動切替盤内にある切替スイッチを「I（系統）」側にし、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
	システムの異常を検出したため一部機能を停止しました。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BE206	出力電力オーバー 規定電力を超えたため、給電を停止しました。 接続機器を減らしたあと、再起動を押して蓄電システムを再起動してください。	掃除機、電子レンジ、ドライヤー、ヒーターなど、消費電力の大きい機器のご使用はお控えください。
BE436	システムの異常を検出したため一部機能を停止しました。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BE449	周囲温度が低温のため、給電が制限されています。接続機器を減らしてください。3分後、自動的に復帰します。	お使いの家電製品を減らして再度お試しください。
BE520	システムの異常を検出したため運転を停止しました。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	蓄電システム用漏電ブレーカを「OFF」にしてください。1分程度経過後、蓄電システム用漏電ブレーカを「ON」にし、蓄電システムの運転を開始してください。 再度エラーが出る場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BE700	システムの異常を検出したため運転を停止しました。取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BE753	経年劣化による発火・けが等の事故防止のため運転を停止しました。運転スイッチを「OFF」にしたうえで取扱説明書に記載されたお問い合わせ先にご連絡ください。	現在日時が正しいことを確認してください。リモコンの電源スイッチを「OFF」にし、1分程度経過後、「ON」にしてください。再度エラーが出る場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

※「xxx」には３桁の点検コードが入ります。

点検コード	エラーメッセージ	処　　置
BCxxx、 BFxxx	システムの異常を検出したため運転を停止しました。安全確認後、自動的に復帰します。繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。
	システムの状態を確認しています。繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BF103	システムの異常を検出したため運転を停止しました。安全確認後、自動的に復帰します。繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	お買い上げの販売会社にご連絡ください。

※「xxx」には 3 桁の点検コードが入ります。

他の機器（制御機器）と本システム接続時のエラー表示に関する注意点

HEMS 機器など制御機器と本製品を接続した場合、リモコンで表示されるエラーと制御機器で表示されるエラーは完全には一致していません。本製品のエラーの詳細についてはリモコン画面をご確認ください。

お知らせ

・リモコン画面でエラーが表示されていても、制御機器にはエラーが表示されない場合があります。
・制御機器には、本製品のエラーの詳細は表示されず、エラーの有無についての情報のみ表示されます。
・制御機器でのエラー表示方法は機器ごとに異なります。機器の販売メーカーにご確認ください。

保証について

保証については保証書の内容をよくお読みください。
また、お買い上げの販売会社からの説明を受け「同意」のもと正しくご使用ください。

アフターサービスについて

ご相談および、ご不明な点は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

修理を依頼される場合は次のことをお知らせください。
・お買い上げ時期
・装置の型式と製造番号（装置貼付の定格ラベル（P.12）、機器情報画面（P.68）に表示）
・故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

Enerezza® Plus の移設について

お客様ご自身では移設を行わないでください。移設するときは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。
機器を一時保管する場合は、屋内（湿気の少ないところ）に保管してください。

蓄電池の廃棄について

蓄電池は指定業者での回収となります。廃棄するときは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。
費用はお客様負担となります。

蓄電池の増設について

本システムが最初に設置されてから 2 年 (730 日) 以内かつ在庫がある限りは、蓄電池の増設をすることができます。
蓄電池の増設については、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。
増設する場合は下記の電力量になります。

● 1 台増設
なし　　→ 5.5kWh
5.5kWh → 11kWh
11kWh　→ 16.5kWh

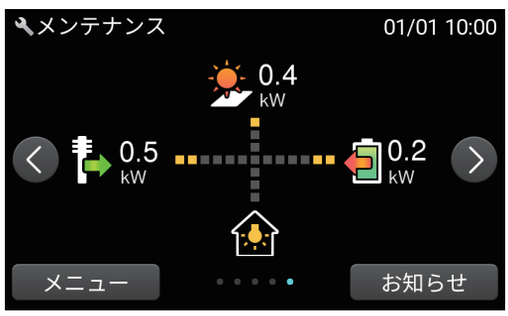
● 2 台増設
なし　　→ 11kWh
5.5kWh → 16.5kWh

ソフトウェアの自動更新について

本製品の性能維持・向上を目的として、本ソフトウェアが自動更新される場合があります。
ソフトウェアの更新中は、本システムは停止となります。この間リモコンの画面はアップデート開始直前の状態を表示しますが、異常ではありません。

蓄電池のメンテナンスモードについて

メンテナンスモードは、蓄電池の劣化状態を自動的に点検するモードです。蓄電池の状態によって、自動的に実行されることがあります。メンテナンスモード実行中は、トップ画面左上に「メンテナンス」（リモート）と表示されます。



メンテナンスモード中の動作

メンテナンスモード中は時間帯に関係なく、蓄電池残量0%まで放電したあと、100%まで充電を行います。
100%まで充電したあとは通常モードに戻ります。

お知らせ

・メンテナンスモード実行中も、普段と同じように、家電製品をお使いいただけます。

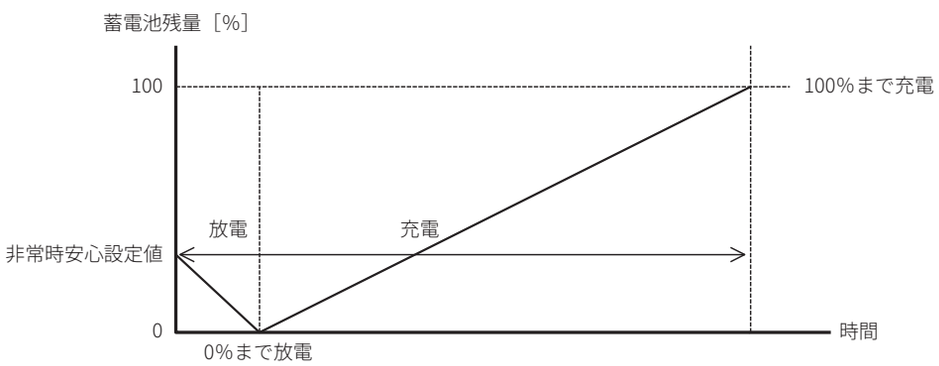
メンテナンスモードが長時間継続し、終わらない場合

家庭内の消費が十分であれば、メンテナンスモードは通常2日程度で終了します。ただし、次の場合は0%まで放電するのに時間がかかるため、メンテナンスモードが長時間継続する場合があります。

・家庭内の電気の消費が少ない
・燃料電池などの外部発電機を併設している

お知らせ

・メンテナンスモードに要する時間は蓄電池残量や消費電力によって変わります。
（例）
16.5kWhシステムの場合は、家庭内の消費電力が1000Wでメンテナンスモード開始時の蓄電池残量が30%の場合にメンテナンスモードに要する目安時間は約10時間です。
・空調などを稼働することで早く終了させることができます。
・メンテナンスモード中に停電や機器異常が発生すると、メンテナンスモードは中止します。
・1週間以上メンテナンスモードが継続する場合はお買い上げの販売会社にご相談ください。
・台風接近などでメンテナンスモードを中止したい場合は、本システムを停止・起動させてください（P.72）。
・メンテナンスモード中に運転停止した場合、「待機モード」で運転再開するため、運転モードも変更してください（P.52）。



メンテナンスモード動作時イメージ

仕様

■ 蓄電池

項目	仕様
型式	LBS-0550
外形寸法	W485 × H562 × D280 [mm]
質量	64kg
色	アイボリー
設置場所	屋内・屋外
電池種類	リチウムイオン電池
定格容量※1	5.5kWh ／ 11kWh ／ 16.5kWh
蓄電池 定格電力	連系 1.5kW/ 自立 2.0kW(EGS-MC0550)
	連系 3.0kW/ 自立 4.0kW(EGS-MC1100)
	連系 4.5kW/ 自立 4.5kW(EGS-MC1650)

■ リモコン

項目	仕様
型式	MRC01
外形寸法	W170 × H151 × D24 [mm]
質量	375g
色	ホワイト
設置場所	屋内
表示モニタ	タッチパネル式カラー液晶（5.0 インチ）
ブザー	圧電ブザー（故障停止時お知らせ用）

■ 通信モデム (オプション品)

項目	仕様
型式	CML001G
外形寸法	W138 × H65 × D17 [mm]
質量	85g
色	ホワイト
設置場所	屋内
通信方式	LTE カテゴリー 1
内蔵通信モジュール	ELS31- JK （認証番号 R : 003-150276 , T : D150192003）

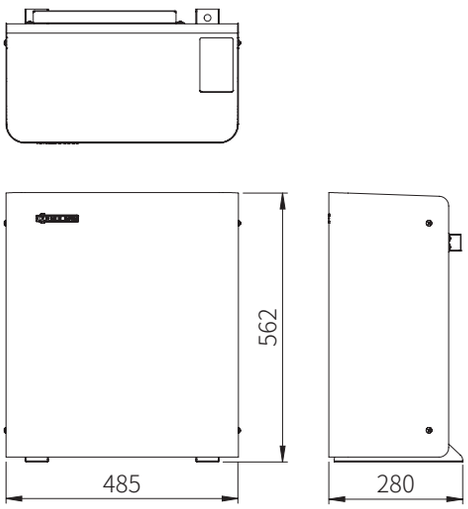
■ パワーコンディショナ

項目		仕様
型式		MBS-590
外形寸法		W650 × H717 × D240 [mm]
質量（取付板含む）		57kg
色		アイボリー
設置場所		屋外（または屋内）
冷却方式		自然空冷※2
騒音		40dB 以下※3
表示		電源 LED
蓄電池入出力		
	定格電圧	DC153.6V
	運転可能電圧	DC90.0V ～ 250.0V
交流出力		
	定格出力電力	5.9kW(連系) ／ 6.0kVA(自立) ※4
	定格電圧	202V　単相 2 線式／ 3 線接続（連系） 202V　単相 3 線式（自立）
	周波数	50 ／ 60Hz
太陽電池入力		
	定格電圧	DC320.0V
	運転可能電圧	DC70.0V ～ 420.0V
外部電力入力		
	入力電力	0.2kW ～ 1.5kW
	入力電圧	AC100.0V
電力変換効率※5		［宅内負荷］ 太陽光発電効率：95.5% 蓄電池放電効率：95% ［蓄電池充電］ 充電効率（系統）：95% 充電効率（太陽光発電）：95%
絶縁方式		非絶縁トランスレス方式
運転停止時消費電力		25W
自立運転時待機消費電力		40W
連系保護機能		交流過電圧（OVR）、交流不足電圧（UVR） 周波数上昇（OFR）、周波数低下（UFR） 受動的単独運転検出、 能動的単独運転検出、逆電力 (RPR) ※6

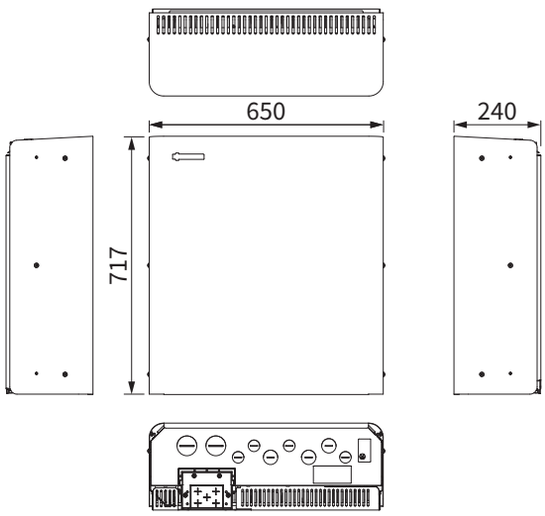
※1 初期実効容量は4.7kWh／9.4kWh／14.1kWh（JISC4413による）です。
※2 自立運転時のみ内部冷却用FANが動作します。
※3 運転時にJISZ8732（2021）に基づき無響音室で測定した値です。
※4 自立：片相3.0kVA
※5 JIS C 8961に基づく効率(定格負荷効率)測定方法による。
※6 蓄電池からの放電時において逆潮流を防止するため、約100Wの順潮流（買電）制御を行います。また安定動作のため、100Wの順潮流（買電）が発生するまでは、蓄電池からの放電は行いません。

外形寸法

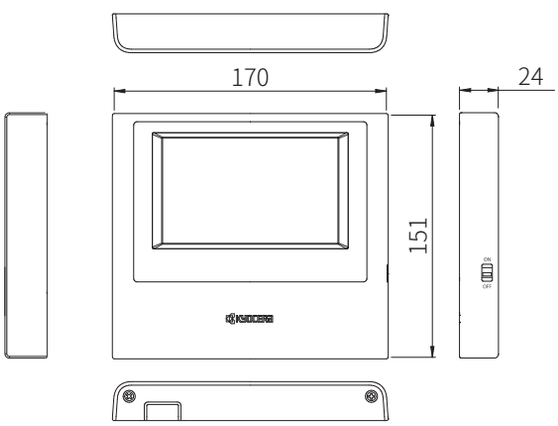
■蓄電池



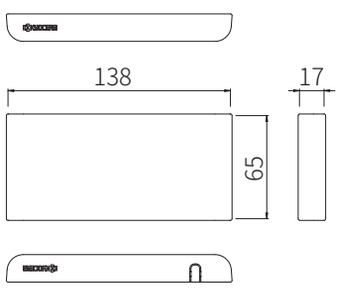
■パワーコンディショナ



■リモコン



■通信モデム(オプション品)



単位：mm

リモコンの初期値一覧

項目	初期値
運転モード	グリーンモード
充電時刻	23：05-06：59
放電時刻	10：00-22：59
非常時運転モード	電池放電優先モード
非常時安心設定	OFF
現在日時	ー
画面の明るさ	3
画面オフ時間	3 分

項目	初期値
操作音	ON
アンペアブレーカ値	制限なし
夜間充電量設定	100%
停電時出力設定	6.0kW
外部電源電力設定	1.0kW
外部電源充電設定	OFF
外部電源入力設定	ON
ネットワーク	使用する

ソフトウェアライセンスについて

リモコン・MRC01（以下、「本製品」といいます）は、当社以外の第三者が規定した使用許諾契約または著作権通知書（以下、総称して「使用許諾契約等」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネンツ（以下、「フリーソフトウェア」といいます）を使用しています。
本製品で使用しているフリーソフトウェアおよび各フリーソフトウェアの適用ライセンスは下記になります。各ライセンスの詳細は京セラWebサイト(https://www.kyocera.co.jp/solar/products/enerezza/)でご確認ください。

フリーソフトウェア名	適用ライセンス
amx3-cm3	TI-TSPA
base-files	GPLv2.0
base-passwd	GPLv2.0
bash	GPLv2.0
busybox	GPLv2.0
	bzip2
bzip2	bzip2
ca-certificates	GPLv2.0
	MPL-2.0
cronie	ISC
	BSD-3-Clause
	BSD-2-Clause
	GPLv2.0
cryptodev-module	GPLv2.0
curl	MIT
devmem2	GPLv2.0
dosfstools	GPLv3.0
e2fsprogs	GPLv2.0
	LGPLv2.0
	BSD-3-Clause
	MIT
ethtool	GPLv2.0
eudev	GPLv2.0
	LGPLv2.1+
expat	MIT
external-linaro-toolchain	LGPLv2.1
	GPLv3.0
	GPLv3.0-with-GCC-exception
gawk	GPLv3.0
gdb	GPLv2.0
	GPLv3.0
	LGPLv2.0
	LGPLv3.0
gdbm	GPLv2.0
grep	GPLv3.0
init-ifupdown	GPLv2.0
initscripts	GPLv2.0
kmod	LGPLv2.1+
libcap	BSD-3-Clause
	GPLv2.0
libffi	MIT
libpam	BSD-3-Clause
	GPLv2.0
libpcap	BSD-3-Clause
libusb1	LGPLv2.1+
kernel	GPLv2.0
md5	RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm
mmc-utils	GPLv2.0
modutils-initscripts	PD
mtd-utils	GPLv2.0
ncurses	MIT
netbase	GPLv2.0
NotoSansCJKjp	OFLv1.1
ntp	NTP
openssh	BSD-3-Clause

openssl	openssl "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)" "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
opkg-utils	GPLv2.0
packagegroup-core-boot	MIT
parted	GPLv3.0
ppp	BSD-3-Clause
	GPLv2.0
	LGPLv2.0+
	PD
procps	GPLv2.0
	LGPLv2.0
prueth-fw	TI-TFL
python	PSFv2
readline	GPLv3.0+
roboto	Apache License 2.0
run-postinsts	MIT
shadow	BSD-3-Clause
	Artistic-1.0
shadow-securetty	MIT
sqlite3	PD
strace	BSD-3-Clause
sysvinit	GPLv2.0
sysvinit-inittab	GPLv2.0
tcpdump	BSD-3-Clause
TeX-Gyre-Heros	GUST Font License(LPPLv1.3c+)
u-boot	GPLv2.0
update-rc.d	GPLv2.0
usbutils	GPLv2.0
util-linux	GPLv2.0
	LGPLv2.1+
	BSD-3-Clause
liblzma	PD
xz	GPLv2.0
zlib	Zlib

フリーソフトウェアの中には、使用許諾契約等において配布の条件として当該フリーソフトウェアのソースコードの入手を可能にすることを定めているものがございます。お客様が当該フリーソフトウェアのソースコードの入手をご希望の場合には、京セラのWebサイト内のお問い合わせフォーム(http://www.kyocera.co.jp/inquiry)よりご連絡ください。なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えいたしかねますので、あらかじめご了承ください。また、ソースコードの入手については、本製品の販売終了後3年に限り有効となっておりますので、ご注意ください。

フリーソフトウェアの中にはお客様による使用が認められるものがありますが、その場合当社、当該フリーソフトウェアの著作者を含む第三者は“as is”の状態で、明示か黙示かを問わず、一切の保証（市場性や特定目的への適合性への保証を含みますがこれに限定されません）がないことを条件として提供します。フリーソフトウェアの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負担するものとします。また、フリーソフトウェアの欠陥を原因とする派生的費用や修理、修正等に要する費用はお客様の負担となります。損害発生の可能性を知らされていたか否かにかかわらず、当社、フリーソフトウェアの著作者、許諾を受けてフリーソフトウェアの変更、再配布をする第三者は、法令または書面による明示的な合意がある場合を除きフリーソフトウェアを使用したこと或いは使用できないことを原因とする一切の損害について何ら責任を負いません。この損害には通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます。また、データの喪失、その正確さの喪失、お客様や第三者の被った損害も含まれますがこれに限定されません。

本製品に内蔵または付属するソフトウェアの中には当社が所有権、著作権を有するものが含まれます。それらのソフトウェアのソースコード提供はいたしませんのでご了承ください。

補助金に関するご注意

補助金の交付を受けて本製品を購入された場合、設置時から 6 年間は本製品を適正にご使用していただく必要があります。設置時から期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

愛情点検



長年ご使用の太陽光発電＆蓄電システムの点検を！

このような症状はありませんか

- 漏電ブレーカが自動的に「切」になるとき
- 正しい使用方法に従って使用していても不明な点があるとき

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため必ず、販売会社に点検をご相談ください。

京セラ株式会社

修理・アフターメンテナンスのご用命は、「弊社専用ダイヤル」へ

フリーコール 0120-33-5582（無料）

受付時間 9:00～17:00　土曜・日曜・祝日も受け付けております。

・「Enerezza(ロゴ)」「Enerezza」「ハウスマイル」は京セラ株式会社の登録商標です。
・QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
・LTEは欧州電気通信標準協会（ETSI）の登録商標です。
・ECHONET Liteはエコーネットコンソーシアムの商標です。

お問い合わせ、ご相談は下記へご連絡ください。

京セラ株式会社

スマートエナジー事業本部

京都市伏見区竹田鳥羽殿町6　〒612-8501

© 2026 KYOCERA Corporation

当説明書に記載の情報は2026年4月時点のものです。

当説明書については、無断で複製、転載することを禁じます。

KM-SP-01093-4